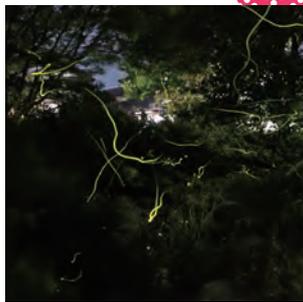


令和5年度  
第38回



ふるさと  
郷土賞

大賞部門

一般部門



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

# 手づくり郷土賞

令和5年度  
第38回

手づくり郷土賞について	4
受賞記念発表会	6
下町惣門を歩く 地域振興と世代継承の可能性を見る 熊本大学新聞社ツアー参加記	9
講評	
全体講評	10
選定委員講評	11

## 大賞部門

- 1 ◆ 米米惣門ツアー～永遠に続くストーリー～ 熊本県山鹿市 ..... 14
- 2 ◆ 記紀の道～地域の宝をつなぎ心を育む～ 宮崎県西都市 ..... 16

## 一般部門

- 1 ◆ はこだて花かいどう～20年目のおもてなし～ 北海道函館市 ..... 18
- 2 ◆ くしろ元町の歴史と自然を活かしたフットパス活動 北海道釧路市 ..... 20
- 3 ◆ 市民手づくりの本格的自然歩道「守谷野鳥のみち」～市街地隣接大規模未利用緑地の戦略的活用～ 茨城県守谷市 ..... 22
- 4 ◆ 人が集まり交流する都市公園へ～地域をつなぐホテル復活プロジェクト～ 千葉県君津市 ..... 24
- 5 ◆ 無人駅で賑わいの創出 新潟県上越市 ..... 26
- 6 ◆ 「人と自然の交流拠点」しのお砂防堰堤 岐阜県高山市 ..... 28
- 7 ◆ 手づくり文化の発信から公共地の官民連携活用へ 愛知県一宮市 ..... 30
- 8 ◆ ひらかれた農山村地域社会の実現をめざして 兵庫県宍粟市 ..... 32
- 9 ◆ 「幻の広浜鉄道今福線」を活かした地域活性化 島根県浜田市 ..... 34
- 10 ◆ 尾原ダム地域活性化の取組み～地域とともに10年、そしてこれからも。～ 島根県雲南市・奥出雲町 ..... 36
- 11 ◆ 港を拠点とした市民によるまちづくり活動～みなとまち八幡浜の再生～ 愛媛県八幡浜市 ..... 38
- 12 ◆ 牧野富太郎博士への思いを紡ぐ公園づくり～みんなで育てる牧野公園～ 高知県佐川町 ..... 40
- 13 ◆ 国場川河口域で自然・環境学習の場づくり活動 沖縄県那覇市 ..... 42

## 資料編

年度別テーマ一覧	44
選定案件一覧	46

# 第38回 手づくり郷土賞

ふるさと

大賞部門

一般部門



9 「幻の広浜鉄道今福線」を活かした地域活性化



10 尾原ダム地域活性化の取組み  
～地域とともに10年、そしてこれからも。～



8 ひらかれた農山村地域社会の実現をめざして



12 牧野富太郎博士への思いを紡ぐ公園づくり  
～みんなで育てる牧野公園～



11 港を拠点とした市民によるまちづくり活動  
～みなとまち八幡浜の再生～



13 国場川河口域で自然・環境学習の場づくり活動



1 米米惣門ツアー  
～永遠に続くストーリー～



2 記紀の道  
～地域の宝をつなぎ心を育む～



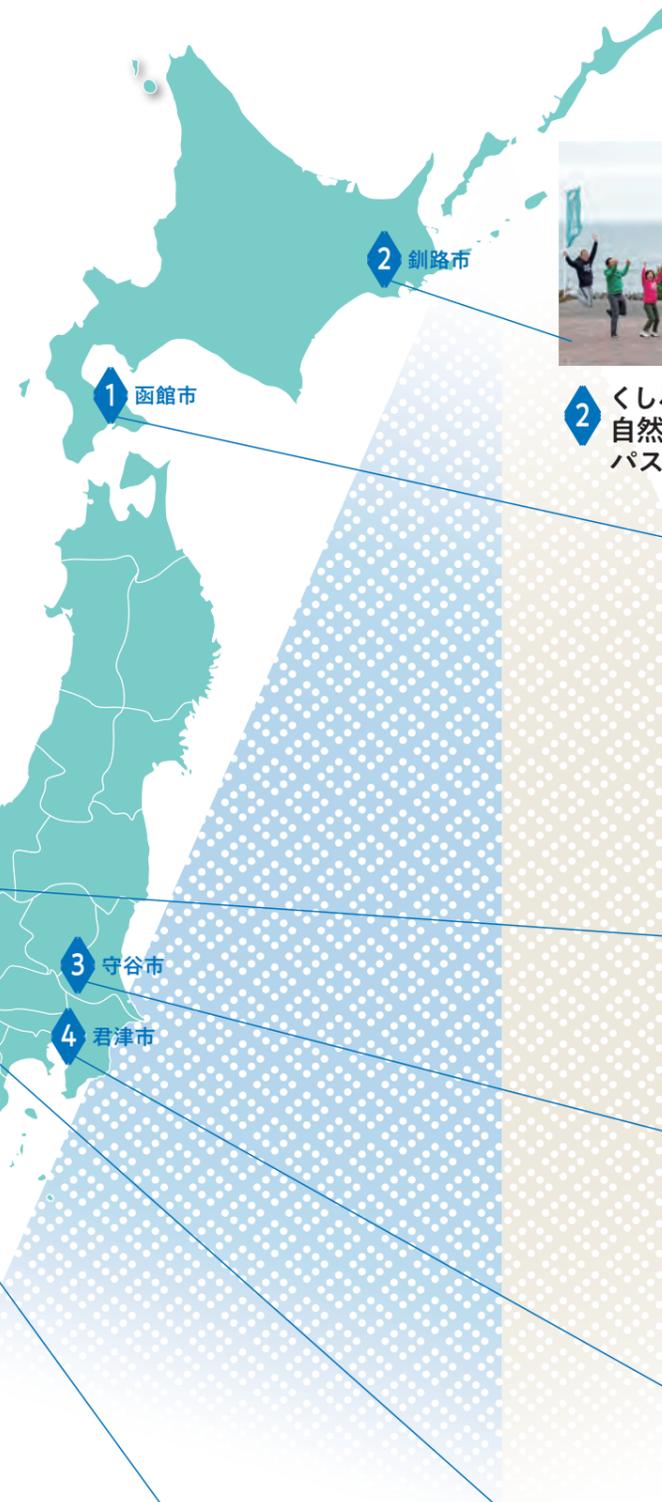
7 手づくり文化の発信から公共地の官民連携活用へ



6 「人と自然の交流拠点」しのぶ砂防堰堤



4 人が集まり交流する都市公園へ  
～地域をつなぐホテル復活プロジェクト～



2 くしろ元町の歴史と自然を活かしたフットパス活動



1 はこだて花かいどう  
～20年目のおもてなし～



5 無人駅で賑わいの創出



3 市民手づくりの本格的自然歩道「守谷野鳥のみち」  
～市街地隣接大規模未利用緑地の戦略的活用～

# 手づくり郷土賞について

## 「手づくり郷土賞」の背景 および目的

日本の各地で、地域特有の自然や歴史、伝統、文化や地場産業等を貴重な地域資源として見直し積極的に利活用した、魅力ある地域づくりの事例が数多く生まれてきています。

「手づくり郷土賞」は、このような地域活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を表彰するものです。また、これらの好事例を広く紹介することで、各地で個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。

「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設され、令和5年度で38回目の開催となる国土交通大臣表彰です。

令和5年度は、地域の魅力や個性を生み出している、社会資本\*及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果を表彰する「手づくり郷土賞(一般部門)」、これまでに「手づくり郷土賞」を受賞したもののうち、なお一層の活動の充実が行われるなど地域づくりに貢献しているものを表彰する「手づくり郷土賞(大賞部門)」の2部門にて実施しました。

このほか、「令和5年度手づくり郷土賞受賞記念発表会」を開催し、受賞団体の中から、ベストプレゼン賞を決定しました。

\*原則として社会資本は国土交通省が所管する分野

## 「手づくり郷土賞」の 選定対象

### ◆「手づくり郷土賞(一般部門)」

#### (募集対象)

地域の魅力や個性を創出している、社会資本及びそれと関わりのある地域活動が一体となった成果

#### (選考のポイント)

- ①社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫(地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての活用・育成等)
- ②地域活動における創意・工夫、取組の独創性(新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組等)
- ③地域づくりへの成果及び波及効果(地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果等)
- ④今後の活動の継続性・発展性(住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫等)
- ⑤他の参考となるような先進性・先導性
- ⑥その他(上記以外の特により優れた内容)

### ◆「手づくり郷土賞(大賞部門)」

#### (募集対象)

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した、社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含む成果(たとえば、これまでに受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含み内容が更に充実している成果、これまでに受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を核とした周辺エリアを含む成果など)

#### (選考のポイント)

一般部門の選考のポイントに加え、大賞部門においては以下のポイントも重視しています。

- ⑦社会資本の地域への定着状況(地域のシンボルとして広く認識されている、多くの地域住民が日常的に利用している等)
- ⑧活動の継続状況(規模を広げながら着実に継続している等)
- ⑨活動の発展状況(新たな取組を創出している、他地域へ波及している等)

## 募集方法と選定

社会資本を有効活用し地域づくり等に取り組む活動団体が単体または共同\*で応募するものとします。社会資本を管理する団体(都道府県、市区町村等)と共同で応募することも可能です。

\*同一の社会資本に関して一体的な活動を行っている複数の活動団体が共同で応募可能

地方整備局等で受け付けた応募資料をもとに、学識者等からなる「手づくり郷土賞」選定委員会による厳正な審査をした上で成果を選定します。

#### (選定にあたっての評価例)

- ・里の原風景を残し、環境学習・景観学習が出来るような整備がされている。
- ・周辺地域の観光資源等と連携して特徴のあるインフラツーリズムを実践している。
- ・オンライン等を活用した情報の発信・共有により、地域内外や多世代の関係者を広く巻き込んでいる。 など

## 選定結果

令和5年6月から8月にかけて募集を行い、全国から「手づくり郷土賞(一般部門)」に28件、「手づくり郷土賞(大賞部門)」に7件、合計35件の応募がありました。

令和5年10月に開催された「手づくり郷土賞選定委員会」において、各選定委員により様々な観点から選考が行われ、「手づくり郷土賞(一般部門)」に13件、「手づくり郷土賞(大賞部門)」に2件、合計15件が選定されました。

## 認定証の交付

受賞団体には、各地方整備局長等を通じて、認定証が授与されるとともに、副賞として盾が贈呈されました。



認定証



副賞(盾)

# 受賞記念発表会

## 手づくり郷土賞受賞記念 発表会の概要

手づくり郷土賞に選定された優れた地域づくり活動を広く紹介することにより、各地で個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が推進されることを目的に、「令和5年度受賞記念発表会」を開催しました。

発表会では、令和5年度の手づくり郷土賞受賞団体からプレゼンテーションをいただき、手づくり郷土賞選定委員会による審査と会場参加者による投票により、ベストプレゼン賞を決定しました。また、審査員特別賞も選定されました。

### 【手づくり郷土賞受賞記念発表会の概要】

日時: 令和5年 12月 23日(土)

13時00分～16時05分

場所: 東京国際交流館プラザ平成

国際交流会議場

(東京都江東区青海2丁目2-1)

参加者: 約100人(オンライン視聴約280人)

### 【発表部門】

会場で団体がプレゼンテーションを実施

### 【動画部門】 ※今回はエントリーなし

団体が事前に作成したプレゼンテーション動画を会場で放映



会場の様子

## 手づくり郷土賞受賞記念 発表会の開催結果

### 1. 受賞団体によるプレゼンテーション

各団体から活動のプレゼンテーション(発表3分、質疑3分)をしていただきました。



プレゼンの様子



選定委員による審査

### 2. ベストプレゼン賞の決定方法

手づくり郷土賞選定委員会による評価点と、会場参加者による投票数に応じた点数を合算した獲得点数を基に、選定委員会による審査を行い決定。

#### 〈評価のポイント〉

- ① 活動内容や活動の意気込みが伝わったか。
- ② プレゼンが工夫されていておもしろかったか。
- ③ 単なる観光地PRになっていないか。

### 3. ベストプレゼン賞等の発表・講評

すべての団体のプレゼンテーションが終わった後、集計・審査を行い、選定委員会よりベストプレゼン賞及び審査員特別賞の発表を行いました。

最後に選定委員会から講評をいただきました。

## 〈受賞団体の発表・感想〉

### ベストプレゼン賞

#### ■ 函館花いっぱい道づくりの会 (北海道 函館市)

令和5年度活動20周年を迎えた記念の年に、手づくり郷土賞とベストプレゼン賞まで頂きまして感無量です。トップバッターで緊張いたしましたが、長年の活動に想いを馳せ感謝しながら発表させていただきました。これからも大勢の方に笑顔を届けられるよう、きれいな道づくりを続けていきます。誠にありがとうございました。



### ベストプレゼン賞

#### ■ くしろ元町青年団 (北海道 釧路市)

日本随一の涼しい街・釧路市。その中でも釧路発祥の元町エリアは、海沿いに神社仏閣が立ち並ぶ美しい景観と、豊かな情緒あふれる自慢の地域です。

今回の手づくり郷土賞とベストプレゼン賞をいただけたことを励みに、石炭列車跡地の遊歩道化の実現などの夢を追い続け、若さをチカラに変えて故郷のまちづくりに邁進します。



### 審査員特別賞

#### ■ 下町惣門会 (熊本県 山鹿市)

この度の大賞受賞ならびに審査員特別賞、大変名誉なことと喜んでおります。最近では国内外からのお客様がSNSで情報を知りインターネットで予約してツアーに参加される時代になりました。ガイドも若い世代が活躍しています。思えば活動開始23年を迎えます。これからも永遠に続くストーリーを紡いでいきたいと思っております。



全受賞団体との記念撮影

〈選定委員の講評〉

野澤 康 委員長

工学院大学建築学部  
まちづくり学科 教授



皆様の活動をぜひいろんな形で発信をし続けていただきたい。既に実施していることも沢山あると思うが、さらに発信をすることで、新たな仲間ができて、後継者不足の解消に役立つ可能性があったり、同じような活動に取り組んで同じような悩みを持った方たちとネットワークをつくっていくことでまた新たな展開が望めたり、さらにはスポンサーが見つかる可能性もある。

小浦 久子 委員

神戸芸術工科大学  
芸術工学部環境デザイン学科 教授



社会資本の機能や使い方の可能性が皆さんの活動によって広がることで、社会資本が役割を拡張したり、新たな交流の場所になっていく。そうした変化が地域づくり、まちづくりにつながっていると感じた。

時間をかけてその場所や環境を変えていく、活動を広げていくといった特徴が見られる皆さんの活動では、担い手を繋いでいく、育てていくためのマネジメントも大事になる。

坂元 英俊 委員

一般社団法人 地域観光研究所  
代表理事



プレゼンの場で書類上では書き尽くせない自分たちが本当に届けたい思いを伝えていただいたことは非常に大事なことで、自分たちが取り組んでいることを言葉にしてそれに共感いただくことが普段の努力が必要となる。

皆様の取組はそういったものが十分に感じられるものであり、これからの未来も非常に楽しみなものになると思う。

河野 まゆ子 委員

株式会社JTB総合研究所  
執行役員地域交流共創部長



一人ひとりの記憶は限られているが、社会資本が社会記憶をつなぐ装置となる。一人ひとりが知らない昔の記憶を顕在化させ、そこに新たな思い出を加えて土地の記憶を未来につなげていくために社会資本が存在するというのを、皆様の発表を聞いて感じた。

皆様の活動が次の発展をむかえたときに、テレビやニュースなどで拝見することを楽しみにしている。

斉藤 俊幸 委員

イング総合計画株式会社  
代表取締役/地域再生マネージャー



立ち位置を考えることは大切で、自分たちの立ち位置を少し変えてみることで、全く新しい領域が見えてくることがある。

皆様の様々な取組の魅力は、自分たちだけではわからない部分があるので、他者にも見ていただき議論していくことで、良い所をしっかりと磨いたり、再解釈を試みることも必要となる。

真田 純子 委員

東京工業大学  
環境・社会理工学院 教授



全国各地の中山間地域では過疎化が進んでいるが、大人が一生懸命活動することで、子供たちに伝わって地域への愛着を醸成し、子供たちが活動に参加することにつながって、活動の持続性にもつながる。

発表を聞いて外部資金の集め方、環境問題への対応、観光客の呼び込み方など、それぞれの活動に工夫があることがよくわかった。

熊本大学新聞社が  
地域づくりの取組を取材!

令和5年度手づくり郷土賞・大賞部門を受賞した「米米惣門ツアー～永遠に続くストーリー～」(熊本県山鹿市)の地域づくりの現場を、学生団体である熊本大学新聞社の皆様が取材しました。

下町惣門を歩く 地域振興と世代継承の可能性を見る 熊本大学新聞社 ツアー参加記

「歴史ある街並みだが、地方都市としてはよくあるものではないか?」。記者が山鹿を訪れた際の失礼極まりない第一印象だ。しかし、脳内に抱いていたこうした感情は、ツアー中にどこかへ消え失せてしまっていた。

最初に訪れた「木屋本店」で甘酒を啜りながら軽妙な語り口を聞き、早速引き込まれる。「千代の園酒造」では地域に根付き、技術を高めてきた酒蔵の歴史を聞く。私に同行した弊社記者は幸せそうな顔で試し酒をして、お土産に買って帰る清酒の品定めをしている。その記者に対し「記者の本分を忘れちゃいけないか」と内心苦々しく見ていたはずが、「光専寺」楼門の由来を聞き、「せんべい工房」で出来立てのせんべいをかじる頃には、私も無邪気に楽しんでしまっていた。

なぜこのように惹き込まれるのだろうか。下町惣門会(木屋本店)の井口圭祐さんは「単純に物売りをするツアーではなく、来た人の思い出に残る、子どもも大人も楽しめるような工夫を大切にしている」と語る。商品を売りつけることを全面に押し出さずとも、実際に製造者から歴史やこだわりの解説を受け、参加者は良い商品であると感じ、ツアーが終わる頃には自然とお土産に手が伸びる。井口さんは「山鹿で作られる商品の良さを知ってもらい、新規顧客の開拓もできる。ツアーを通じて様々な効果を派生させている」と取組の意義を強調する。

一貫したテーマも特徴だ。単に古い街並みと地域の人々の営みがそのまま並んでいるのではなく、「米」という共通項で、有機的に結ばれている。通りを歩くと、菊池川水運と共に発展してきた街並みは社会資本として地域住民が整備し、守ってきたことがわかる。通りの景観は丁寧に整えられ、修復箇所も伝統的な景観を壊さないような素材や技術が採られるなど、細部にわたって工夫がなされている。地域社会の複数の店舗や施設を統一したテーマで、技術と誇りを持った地元のプロがリレー方式で説明するという手法は、社会資本たる下町と併せて魅力を伝える強みとなっていた。

別のガイドの男性は「最初は何も分からなくて、参考事例もないので試行錯誤していた」と話す。しかし、良い街並みと良い生産物を知ってほしい、楽しんで欲しいと工夫する中で、活動に参加する人々の間に地域社会を盛り立てていこうという気運が高まっていき、「今では多くの人が訪れ、リピーターも獲得できた」と手応えを口にした。

ツアーが始まってから四半世紀が経とうとする今、地域固有の歴史と技術に根ざした方法で経済的な持続可能性を確保し、地域社会の担い手の世代交代を図っている。初春の風が吹く古い街並みの中に、昔ながらの産業を守りつつ、そこに新たな価値を創造し、地域を振興し次世代に継いでいこうという前向きな感情が満ちていた。



木屋本店・井口圭祐さんをはじめ  
地域の方がリレー方式でツアーを案内



井口圭祐さんの息子・裕二さんなど  
次の世代へと取組が継承されている



せんべい焼きなど米にまつわる  
地域産業を体験

# 全体講評

手づくり郷土賞は、昭和61年度の創設から令和5年度で38回目を迎え、今回選定された15件を含めると、これまで1,559件が選定されています。今年も様々な活動団体から優れた取組の応募をいただき、それぞれの地域を良くしていこうという想いが伝わり、甲乙つけがたいものばかりでした。

手づくり郷土賞では、取組の表彰を行うだけでなく、全国に優れた取組の輪を広げていくことも目指しており、受賞団体による発表会は受賞

者の交流・学びの場として、参加者から好評をいただいております。

併せてオンライン配信も行うことで、全国各地からより多くの方にご視聴いただき、賑やかな会となりました。

今後も、受賞された団体をはじめ、地域づくり活動に取り組んでいる皆様におかれては、活動の継続及び更なる発展にご尽力いただくとともに、各々特徴ある地域づくりが進んでいくことを、選定委員会一同期待しています。

## 第38回「手づくり郷土賞」選定委員会

委員長：野澤 康 工学院大学 建築学部まちづくり学科 教授  
河野まゆ子 株式会社JTB総合研究所 執行役員 地域交流共創部長  
小浦久子 神戸芸術工科大学 芸術工学部環境デザイン学科 教授  
斉藤俊幸 イング総合計画株式会社 代表取締役/地域再生マネージャー  
坂元英俊 一般社団法人 地域観光研究所 代表理事  
真田純子 東京工業大学 環境・社会理工学院 教授

(敬称略)

# 選定委員講評

## 野澤 康 委員長

令和5年度「手づくり郷土賞」を受賞された地域・団体の皆様、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

今年度も全国各地から多数の応募があり、審査には頭を悩まされました。いずれも熱心な取り組みの賜物であることに間違いはありませんが、賞を決めるためには甲乙をつけなければなりません。私自身が評価する際の視点は、社会資本をうまく活用していることはもちろん、その活動の内容が多面的に発展・展開しているか、限られたメンバーの自己満足に終わらず、様々な世代の多くの人々を巻き込んだ活動へと広がりを見せているか、といったポイントになります。さらに、申請書類からそうした活動の特徴や良い点が十分に伝わってくるのかも、審査する際には重要な観点になります。申請書で伝えられるということは、普段から活動の発信もしっかりできているものだと信じているからです。人知れず活動するのではなく、多くの人に発信することはとても重要です。

今回、受賞された皆様には、全国の模範的な活動であるとの自覚をお持ちいただくとともに、広く情報発信をして他地域の参考にしてもらいながら、今後も継続して活動を発展させていただくことを大いに期待しています。

## 河野 まゆ子 委員

手づくり郷土賞を受賞されました地域、団体の皆様に心よりお喜び申し上げます。

長いもので、今年で委員任期の最終年となりました。

近年、デジタル技術の急速な発達により、情報を短時間で発信・収集することが容易になり、現地に足を運ばなくても動画や画像、仮想現実などで現地の様子を想起することができるようになりました。一方で、人ひとりが一生で得られる情報や体験の量には限界があり、これを打ち破ることはできません。誰もが簡単にアクセスできる地域の風景動画やそれに関する情報は、単体では単なるデータです。しかし、地域に残る社会資本が織りなす風景には、それが作られ、今日まで引き継がれてきた長い時間の社会記憶が宿っています。社会資本をつくるために尽力した過去の人々、その恩恵で生まれた産業や文化のこと。それらを守り伝え、いまの日々の暮らしにとって有用なものとする皆さまの活動。これらはデータに触れるだけでは実感することができません。社会資本は、過去から未来へとバトンを渡していく人々を繋ぎ、それを活動の核とする人々を繋ぐことができる装置であり、土地の記憶の集積であるからこそ価値なのだというのが、わたしがこの6年間を通じて得た結論です。皆さまの活動が地域の物語のひとつとなり、そのページが増えていくことを祈念いたします。

小浦 久子 委員

全国には地域の環境や暮らしに根ざした取組がたくさんあり、そのなかで手づくり郷土賞を受賞された皆様には、心よりお祝い申し上げます。

この賞は、社会資本をどのように活かして、地域らしいまちづくりを行っているのかを評価するものです。公共事業が地域づくりを先導する時代から、今ある社会資本を地域の必要に応じて少し勝手にでも使い始めるところから地域づくりが始まる状況へと変化しています。道は使いこなしにより、広場にもなり、交流の場にもなります。全国同じ基準で作られる公園や河川整備においても、地域の自然風土とつながる管理や使い方により、環境学習や地域の文化を学ぶ場となります。そうした小さく始めて大きく育てる取組が多く見られました。

確かに地方都市や集落では人口減少や高齢化により厳しい状況はありますが、その中でも自然体で活動を続けるしくみや方法を生みだし、何よりも皆様が楽しんでいることが活動の継続につながっているのではないのでしょうか。聞いてみないとわからないことも多く、それぞれの地域での工夫や試行錯誤をできるだけ情報発信してネットワークが広がることを期待します。

齊藤 俊幸 委員

私は26歳のころにコンサルタント会社を起業し42年間に亘り地域の現場で活動する一人親方の会社を運営してきました。この間、買い物難民の存在を問題提起し、また11年間に亘り地域に住込み活動したことにより地域おこし協力隊の制度のモデルともなりました。40年以上も零細な企業として生きてこれたのは立ち位置がよかったからだと思っています。

今回受賞されたプロジェクトに対して思うのはもう一步踏み込めば、新たな展開があるなと感じたものがあつたことです。一度外部の専門家に見てもらい新たな展開を考えることも一考と思いました。新たな立ち位置を考えることは新たなイノベーションを地域で起こすことと同義であると思います。きっと次の世代に地域に対する思いを伝えられることができます。ぜひ、楽しみながら、元気にまちづくりを進めてください。遠くから応援しております。

坂元 英俊 委員

地域のインフラが整備され、周辺の皆様が地域保全や活用のために努力されてきた結果として、手づくり故郷賞を受賞されたことと思います。おめでとうございます。

長期に亘って、取組をされている地域が多く、その取組も子供たちの参加や市民の参加が継続しており、単なるイベントに終わることなく、地域の良さを引き出す動きや学習の素材として活用されていることが数多く見受けられるようになってきました。

現在、コロナ禍が収束を迎えつつあり、人の動きにも変化が見られるようになりました。これまで、なかなか外を出まわれなかった人たちにも、地元を見つめ直す機会になったようです。また、より人との関りを求めるようになり、地域の良さを引き出すことへの興味を持つ人々も増えてきました。皆様の地道な努力は、必ずや次の時代への礎になると確信しています。

時代は確実に前進し、アナログからデジタルに移行しています。デジタルを活用しながらもアナログで日本に培われてきた営みの工夫は、人への思いやりや不断の努力、手づくりの取組をとおして、必ずや未来における魅力的な地域づくりの結果につながると思います。

真田 純子 委員

手づくり郷土賞を受賞された皆様、おめでとうございます。

今年もたくさんの方々から、地域のインフラを活用し、地域を盛り上げる取組をご応募いただきました。審査員はいろいろな立場の人で構成されているので、書類を見ながら、いろいろな視点で議論し、とても勉強になりました。これもひとえに、皆様の活動があつてこそです。また、発表会では書面だけでは分からなかった取組の雰囲気や熱い思いを感じることができました。

今年の受賞は波及効果と連携、持続可能性の3つがキーワードではないかと思えます。活動をするメンバーが、その場所を盛り上げる、管理するというだけでなく、それが周囲に効果をもたらしているもの、いろいろな立場の人と連携しているものが印象に残っています。また、取組の内容に、維持管理だけではなく、持続可能な環境、例えば資源の循環などを取り入れているものも、やはり時代の流れなのか増えてきているように思えます。これらは、新しい人を呼び込み、活動の持続性にもつながります。

残念ながら受賞に至らなかった皆様も、自分たちの活動に、この3つのうちどれか1つでも取り入れてみると次の展開があるのではないのでしょうか。

# 米米惣門ツアー ～永遠に続くストーリー～



下町惣門会／九州地方整備局 菊池川河川事務所／山鹿市 熊本県 山鹿市

## 1 社会資本の概要

下町惣門会の活動拠点は、江戸時代に栄えた参勤交代路の豊前街道と米の水運拠点であった菊池川の船着場が交差する熊本県山鹿市下町です。菊池川河川事務所が「山鹿地区かわまち環境整備事業」により整備した堤防、山鹿市による「街なみ環境整備事業」にて整備した豊前街道、現在も継続されている「山鹿市まちなみ整備事業」は歴史的景観を確保しながら市街地の活性化を促しています。それらの社会資本は、江戸時代に参勤交代の宿場町として栄えた時の

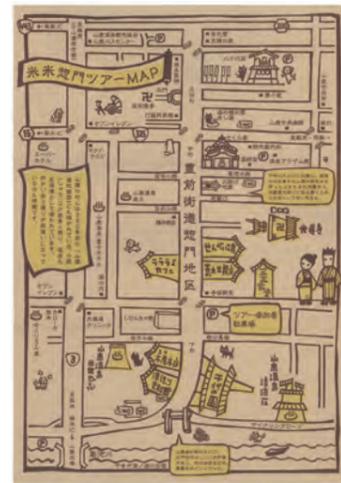
まちなみを再現しており、観光資源として観光客にも地域住民にも広く利活用されています。下町惣門会は、周辺の八千代座やさくら湯、山鹿灯籠民芸館とも連携し山鹿の魅力を伝えています。



下町のまちなみ



船着場整備



「米米惣門ツアー」マップ

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

平成12年に開始した「米米惣門ツアー」。菊池川の水運による米の集散地として発展したことから、「米」をキーワードとして酒蔵、麴屋、寺院等を案内し、米せんべい作りを体験するツアーです。

山鹿もインバウンドの対応に迫られ、通訳だけでは下町惣門会の個性が発揮できないと考え、外国人観光客に身振り手振りでコミュニケーションを図

り実演を交えて紹介しています。言語も文化も異なる外国人に感動を伝える努力をした結果、言葉に頼らないガイドが実現しました。またバリアフリーにも取組み、足の不自由な人のために車いすを確保し、目の不自由な人には触って聞いてもらい、耳の不自由な人には見て楽しませる方法を研究しています。



米米惣門ツアーの様子



実際に触れてもらい実演を交えて紹介



身振り手振りでコミュニケーション

## 3 活動の成果や波及効果等

ツアー参加者数は、令和元年12月～令和5年4月までの間、新型コロナウイルス感染症の影響もあり低迷しましたが、昨年秋より徐々に回復し、現在は予約が増加傾向です。小学生の社会見学や高校生が行う観光商業の研究、JA等の企業研修にも活用され、歴史的市街地づくり、地域活性化をテーマとした行政や各団体から視察を受けております。



小学生の社会見学の様子

## 4 前回受賞時からの活動の発展内容

新しい若手メンバーが増え、創設メンバーからノウハウを教わりガイドとして活躍しています。知識だけではなく、「自分たちでこの街を紹介しよう、観光客をもてなそう」という下町惣門会の伝統精神、それをも受け継いでいます。今後、台湾との交流の増加が期待される中、多言語パンフレットを作成したりとインバウンド対応の準備を進めています。

## 喜びの声

受賞者

下町惣門会  
井口 圭祐



### コメント

米米惣門ツアーを始めたころ、「山鹿の魅力を自分たちの声と言葉で伝えたい。来てくれた人をもてなしたい」という一心で山鹿の歴史を必死で勉強しガイドの練習に励みました。あれから23年、楽しそうな国内外の観光客の姿を数多く見ることができました。その喜びに加え、大賞部門受賞は、下町惣門会一同、名誉なことであると思っております。

### 活動の内容

- 豊前街道でのまち歩きツアー
- 店主たちがガイドを務め、ツアーの途中でガイドが変わるリレー方式で行う
- 酒づくり、麴づくりの見学場として公開されている。米せんべい作りも体験できて、歴史的建物がある寺院を案内するといったメニュー

### 活動の経歴

- 平成19年 九州よかとこ案内人大賞受賞  
美しいまちなみ大賞受賞
- 平成26年 手づくり郷土賞一般部門受賞
- 令和 3年 道守くまもと会議表彰
- 令和 5年 九州地方整備局国土交通行政功労表彰

所在地	熊本県山鹿市山鹿下町惣門界隈
活動主体及び連絡先	主催:下町惣門会 ツアー申込先:山鹿温泉観光協会 (TEL:0968-43-2952)
対象となる社会資本	豊前街道 ※管理者:山鹿市

# 記紀の道

～地域の宝をつなぎ心を育む～



妻北地域づくり協議会／  
映画「みちのみちのり」製作委員会／西都市 宮崎県 西都市

## 1 社会資本の概要

西都市には、一ツ瀬川の河岸段丘上に三百基余りの古墳が点在する日本最大級の西都原古墳群があります。平成30年に日本遺産に認定され、年間百万人が訪れる県内有数の名所です。また、河岸段丘の中段域には、日本最古の歴史書「古事記」「日本書紀」に記された日向神話にまつわる伝承地が点在していま

す。これらの伝承地をめぐる道が「記紀の道」です。平成17年に整備計画を策定し、令和3年度に整備が完了しました。点在していた伝承地や、巨木や水辺などの自然が1本の道でつながり、まるで大きな公園の中を歩いているような道が整備されました。



「記紀の道」沿いに流れる逢初川(あいそめがわ)



神話の伝承地が溶け込む日常の散歩道



「記紀の道」を歩いて稲作体験へ

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

妻北地域づくり協議会は、住民参加型で地域資源の再認識や郷土愛を育む活動、住民同士の繋がりや来訪者との交流を深める活動に取り組んでいます。手づくり郷土賞(一般部門)などの受賞により、市民に「記紀の道」が認知されるようになりましたが、地区外への広がりには弱い状況でした。そこで、記紀の道に携わった有志が、映画「みちのみち

のり」製作委員会を立ち上げ、クラウドファンディングで映画を製作しました。クラウドファンディングによって地域を巻き込み、市内外にファンを増やし、上映によって知られていなかった「記紀の道」の魅力を伝えることができました。上映会やトークイベントを重ね「記紀の道」との繋がりを増やしています。



地域の皆さんに応援していただいたクラウドファンディング



記紀の道の日常をつくる「人」たちの目線から魅力を伝えるドキュメンタリー映画

## 3 活動の成果や波及効果等

歩こう会など「記紀の道」での活動を体験した子どもたちは、高校生となり、もっと「記紀の道」を広めようとランタンで飾るアイデアを提案します。妻北地域づくり協議会や市民も製作に協力し、約2000個のランタンを記紀の道に飾りました。地域の方と交流し、古墳まつりの参加者をもてなす高校生の活動が、「記紀の道」の魅力をさらに高めました。



古墳まつりのたいまつ行列に合わせて「記紀の道」をランタンで飾った妻高生

## 4 前回受賞時からの活動の発展内容

これまでの花植えや小学生の稲作体験に加え、ホテルの環境整備、古代ハス栽培の拡大、フジバカマの栽培など、歩く楽しみを線をつなぎ、季節ごとの動植物に出逢える風景づくりに発展しました。また、稲作体験については、学校の授業として採用されるようになり、収穫後の餅つきは学校の中庭で行われ、下級生の憧れの授業となっています。

## 喜びの声



受賞者

妻北地域づくり協議会  
映画「みちのみちのり」  
製作委員会

### コメント

この度は栄えある大賞を頂きありがとうございます。「みちのみちのり」製作委員会は市外の西都ファンの方による活動で、上映により「記紀の道」を広め、新たな繋がりを生んでくれました。今回の受賞や来訪者が増えること、子ども達からの感謝の言葉をモチベーションに、地道な活動を継続し、一つ一つをさらに良くしていきたいと思ひます。

### 活動の内容

(妻北地域づくり協議会)  
歩こう会、稲作体験、たいまつ行列支援、フジバカマや大賀ハス栽培、ホテルの環境整備、清掃活動等(映画「みちのみちのり」製作委員会)  
上映会+トークイベントの開催

### 活動の経歴

- 平成25年 妻北地域づくり協議会設立
- 令和元年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞  
グッドデザイン賞受賞
- 令和3年 映画「みちのみちのり」製作委員会設立  
クラウドファンディングで映画を製作
- 令和4年 映画上映

所在地	宮崎県西都市大字三宅
活動主体及び連絡先	妻北地域づくり協議会(TEL:0983-30-3090) 映画「みちのみちのり」製作委員会 映画上映については、 kikinomichi.movie@gmail.comまで
対象となる社会資本	逢初川歩行者専用道路 ※管理者:宮崎県西都市

\* 記紀の道無料ガイド 10:00~15:00(月曜休み) 連絡先(このはな館案内所)090-9728-2545

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# はこだて花かいどう ～20年目のおもてなし～



## 1 社会資本の概要

函館市は、函館山から観る夜景や五稜郭、異国情緒あふれる西部地区等多くの魅力的な観光資源を有し、国内外を問わず年間約500万人の観光客が訪れる日本を代表する観光地のひとつとなっています。

本取組の舞台である国道5号函館新道の石川町・桔梗町の地域は函館市の北部に位置し函館新道、

函館・江差自動車道及び函館新外環状道路のインターチェンジがあることから、陸路で函館へ訪れる方々をお迎えする玄関口となっています。

また、国道の沿線には、学校や商業施設が建ち並び、地域住民の生活道路としての役割も担っています。



国道5号函館新道情報板  
「はこだて花かいどう活動20年」



国道5号函館新道の植樹樹  
両側に咲く色とりどりの花

## 2 取組の背景、取組概要と創意工夫

国道5号函館新道が開通したことを契機に「綺麗なお花を見て旅の疲れを癒やし、喜んでいただきたい」というおもてなしの気持ちを込め、参加者も親しみやすいよう「はこだて花かいどう」と愛称を付けて、平成16年度から花による道路の美化・清掃活動等を行っています。

お花が元気な状態で長く咲き続けるために、ミミズによる自然分解での堆肥づくりを取り入れたこと

で、春から秋まで綺麗に咲くようになり道路を利用される多くの方々に喜ばれています。

また、沿線企業や北海道開発局、函館市等と連携し、防災体験イベントを行っています。

冬季には、手作りワックスキャンドルやアイスキャンドルを設置し、地域住民や訪れる方々の目を楽しませる「シーニックdeナイト」に参加しています。



環境教育の一環  
(堆肥場をつくるためミミズを採取)



防災展示コーナーを設置  
体験イベント



冬の夜を彩るシーニックdeナイト

## 3 活動の成果や波及効果等

平成16年の植栽時は約400名でスタートしましたが、20周年を迎えた令和5年は、職種や世代を超えて約800名が参加するまでに成長しました。

活動区間も約300mから約1kmと延長し、色とりどりのお花が道路景観を明るく演出しています。

冬季は、手作りワックスキャンドルやアイスキャンドルの灯りで歩道に彩りを与える、冬のおもてなし活動「シーニックdeナイト」が、道南地域で広く行われるようになり、令和6年2月は道南8か所で開催予定です。



幅広い世代が活動に参加



咲き終えた花を一つずつ  
取り除きます



牛乳パックで作る  
キャンドル作りの様子



アイスキャンドル

## 喜びの声



### 受賞者

函館花いっぱい道づくりの会  
代表  
折谷 久美子

### コメント

この度の受賞で、はこだて花かいどうの活動を多くの方々に知っていただき大変嬉しく思っています。令和5年度活動20周年。長年活動を支えて下さった全ての皆さんに感謝するとともに、未来を担う子供たちにつなげていけるよう、これからも地域一体で取り組んでいきたいと思っています。

### 活動の内容

- 環境に配慮した植栽、維持清掃活動  
(資源循環型、CO<sub>2</sub>削減、SDGsの取り入れ)
- 地域の子供たちへの環境教育
- 防災体験イベント等の実施

### 活動の経歴

- 平成16年 函館花いっぱい道づくりの会設立
- 平成18年 シーニックdeナイトへの参加開始
- 平成19年 北のまちづくり賞奨励賞(北海道知事)
- 平成22年 全国みどりの愛護功労者(国土交通大臣)
- 平成23年 函館市都市景観賞(函館市長)
- 令和 3年 道路功労者表彰(国土交通大臣)

**所在地** 北海道函館市石川町～桔梗町地区

**活動主体及び連絡先** 函館花いっぱい道づくりの会  
TEL:0138-45-7576 FAX:0138-45-7701

**対象となる社会資本** 国道5号(函館新道)  
※管理者 国土交通省北海道開発局  
函館開発建設部



# くしろ元町の歴史と自然を活かしたフットパス活動

くしろ元町青年団 北海道 釧路市



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

## 1 社会資本の概要

釧路市は、北海道の東部、太平洋岸に位置しており、「釧路湿原」「阿寒摩周」の二つの国立公園をはじめとする雄大な自然に恵まれた街であり、地域の社会・経済の中心都市です。

くしろ元町青年団が活動の舞台としている「くしろ元町」とは、釧路市内を流れる釧路川より南の高台に位置する米町とその周辺の総称であり、古

くは江戸時代に、アイヌ民族と和人が交易を行った「クスリ（釧路）場所」が設置されるなど、釧路発祥の地で歴史があり、美しい景観と豊かな情緒が溢れる街です。

そんな情緒溢れる街において、道道や市道などを活用して、くしろ元町を盛り上げる活動として、「くしろ元町フットパス」などの活動を行っています。



くしろ元町地区



寺町通り



南大通(道道25号線)

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

くしろ元町は、美しい景観と豊かな情緒が溢れる街ですが、平成18年からの10年間で、20~30代の若者・子育て世代が約50%減少しており、このままでは元町から誰もいなくなってしまうと危機感を持ちました。そこで、「若者・子育て世代も元町に来て、みんなが過ごしたくなるまちづくり」をテーマに、様々な活動を行っています。

歴史や景観の魅力を歩きながら感じてもらう「くしろ元町フットパス」、健康づくりと夜間の防犯活動を兼ねた「元町ゆるゆるラン&ウォーク」などの活動とともに、令和元年に廃止された石炭列車廃線跡地の活用に向けた取組である「つなぐ道プロジェクト」では、地域の名所であった踏切跡を、寄付を募ることにより再現する取組も行いました。



石炭列車の廃線跡を歩くフットパス



元町ゆるゆるラン&ウォーク



再現された弁天ヶ浜の踏切

## 3 活動の成果や波及効果等

くしろ元町青年団では、元町をもっと知ってもらうために、元町情報誌である「元町マニア」や「元町フットパスマップ」を作成しました。また、石炭列車廃線跡地の遊歩道化実現への願いを込め作成したテーマソング「つなぐ道」は、地元小学校の授業の一環として歌われています。

さらに、定期的に「くしろ元町講座」を開催しており、釧路公立大学の教授や学生に地域の活性化策を提案してもらうなど、地域を巻き込んだ活動を展開しています。



元町情報誌「元町マニア」



元町講座



「つなぐ道」ミュージックビデオの一場面



「つなぐ道」完成お披露目ステージ(地元小学生とともに)

## 喜びの声



### 受賞者

くしろ元町青年団 団長 菊池 吉史

### コメント

日本随一の涼しい街・釧路市。その中でも釧路発祥の元町エリアは、海沿いに神社仏閣が立ち並び美しい景観と、豊かな情緒溢れる自慢の地域です。今回、手づくり郷土賞をいただいたことを励みに、石炭列車跡地の遊歩道化の実現などの夢を追い続け、若さをチカラに変えて故郷のまちづくりに邁進します。

### 活動の内容

- 情報発信(元町マップ・元町マニアの発行、元町講座、出前授業、YouTubeチャンネルなど)
- コミュニティづくり(くしろ元町フットパス、元町ゆるゆるラン&ウォーク、元町おてら食堂、元町女子会など)
- つなぐ道プロジェクト(石炭列車跡地の有効活用)

### 活動の経歴

- 平成27年 くしろ元町青年団設立
- 元町フットパスマップ作成
- 令和 2年 弁天ヶ浜踏切の再現
- 令和 3年 元町情報誌の発行
- 令和 5年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞

### 所在地

北海道釧路市

### 活動主体及び連絡先

くしろ元町青年団  
TEL:090-1763-4485

### 対象となる社会資本

北海道道25号釧路港線、  
釧路市道弥生宮本通・米町本通 他



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# 市民手づくりの本格的自然歩道 「守谷野鳥のみち」

～市街地隣接大規模未利用緑地の戦略的活用～

民間非営利任意団体 守谷市観光協会 / 守谷市

茨城県 守谷市



## 1 社会資本の概要

住みよいまち守谷市の中心市街地の身近な大規模緑地。そこには、市民が主力となって行政と力を合わせて護り育てている日本の原風景があります。

守谷野鳥のみちは、その貴重な緑地に市民団体、ボランティア、小中学生、行政、地域の人々の手づくりで設置した本格的な自然歩道です。木漏れ日の森には、野鳥たちと共生する「林間コース」(土の道)を整備、野鳥たちのおしゃべりを聞きながら、やすらぎのひとときを過ごせます。

隣の「湿地コース」(木の道)は、本格的なバリアフリー木道で、耐久性を考えた県北産の総ヒノキづくりです。

野鳥や小動物たちと人間の共生、景観に配慮した設計で、夜間はイタチやタヌキの遊び場に、夏にはハイケボタルも楽しめる、豊かな自然環境で無限の可能性を実感できる空間です。



本格的な木道  
(総ヒノキづくり)



林間コースの多目的デッキ



ネズミを啜って見せに来たイタチ

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

土地区画整理事業の凍結により、大規模未利用緑地が無管理状態で放置されていることを懸念した少数の市民グループにより、平成14年に創業。近隣小中学生の参加による不法投棄ごみ撤去、廃道の遊歩道化から開始しました。守谷市・近隣小中学校・民間企業等の協力を得て、先ず林間遊歩道5ルートと接続市道を加えた「林間コース」を整備。次に、林間コースに接続する湿地空間に「湿地コース」を整備し、総延長

4kmの自然歩道ネットワークを完成させました(なお、令和6年前半に、守谷城址に直結する「城址ルート」400mを増設しています)。

当事者自身が、自ら楽しみ、利用者視点で整備・管理、常に改良、進化させながら、日本の原風景(里山)の保全と都市・自然・歴史(守谷城址)のリンク、野鳥たちとの共生のための活動を行っています。



中学生による作業  
(ヒノキ原木の皮むき)



湿地環境での基礎設置  
天板取付作業



林間コース  
土の道の木道化作業

## 3 活動の成果や波及効果等

守谷市最大の魅力である「優れた都市環境と緑豊かな自然環境の絶妙なバランス」に関し、「第二次守谷市緑の基本計画」で緑化重点地区の中核に認定され、中心市街地隣接の大規模緑地の維持増進と有効活用に貢献しています。

都市環境(市街地)・自然環境(対象区域)・歴史環境(守谷城址)の連携で地域発展軸が形成され、当事業の存在を動機とする転入者が見られるようになりました。

東京中心地から1時間、大自然真ただ中の市民手づくりの本格的な自然歩道の雰囲気の高さが評価され、市内外から年間最大10万人が訪れる、快適空間を広域に提供しています。



野鳥観察会



隣接する中世城郭「守谷城址」の大堀切(木橋跡)



守谷野鳥のみち  
ルート図

所在地	茨城県守谷市本町
活動主体及び連絡先	民間非営利任意団体・守谷市観光協会 事務局:守谷市生活経済部経済課 TEL 0297-45-1111(内線268)
対象となる社会資本	守谷野鳥のみち・守谷城址公園

## 喜びの声

民間非営利任意団体  
守谷市観光協会会長  
作部屋 義彦  
(一番右)



### コメント

平成14年に行政3名民間3名の発想が近隣小中学生たちの協力で小さな流れとなり、それが守谷市観光協会と事業化され、市民ボランティアの奮闘や行政・企業の支援で大きな流れとなりました。

いまや、住みよいまち守谷市の大きな魅力となって市内外から年間10万人が訪れ、当初予想もしなかった「令和5年手づくり郷土賞」を頂くことになりました。遥々と良くきたものと感無量です。今後とも、大きな責任を感じつつ、満足できる楽しいプロジェクトに育てて行きたいと念じています。

### 活動の内容

- 近隣小中学生参加による不法投棄ごみ撤去・廃道の遊歩道化
- 遊歩道の整備(計画・設計・施工・管理・運営)
- 休憩・野外学習用テーブル・ベンチの制作・設置
- 維持管理全般(補修・防腐塗装・除草等)
- 案内板、方向指示板、歴史説明板などの設置
- 守谷城址の環境整理、利活用のための歴史調査研究
- ウォーキングツアーの開催、ガイド
- 月例野鳥観察会の開催 など

### 活動の経歴

- 平成10年 民間非営利任意団体・守谷市観光協会設立
- 平成24年 林間コース2.5kmを整備  
国連環境計画(UNEP)協賛国際住みよいまちづくり(リブコム)賞 銀賞受賞
- 平成30年 湿地コース1.5km整備  
日本計画行政学会第17回計画賞受賞
- 令和 5年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# 人が集まり交流する都市公園へ ～地域をつなぐホタル復活プロジェクト～

大道沢公園ホタルプロジェクト 千葉県 君津市



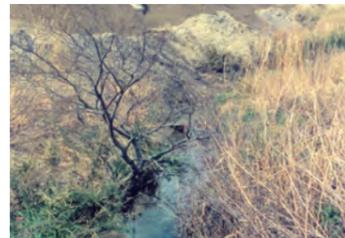
## 1 社会資本の概要

大道沢公園は、緑道(A・B・Cの3ゾーン)、北公園、南公園の5ゾーンから構成された親水公園で、地下400mから自噴する2本の深井戸(防災井戸)を水源とする小川が流れています。昭和40～50年代に鉄鋼業の発展に伴い、全国から移住した人々により急激に市街地が形成された地域の中心に位置し、交流と融和・災害に強い街など他の公園にはないコンセプトをもって造成されました。

昭和40年頃までの「大道沢」はホタルが飛び交い、ウナギが遡上する豊かな小川でした。土地区画整理に伴い、そうした環境が失われましたが、昭和61年からおよそ10年をかけて「大道沢公園」が整備され、公園内には、以前にあった「大道沢」をイメージした全長約1.2kmの小川が再現されました。しかし、再現された小川でホタルが自然に飛翔することはありませんでした。



土地区画整理工事終了間際(昭和55年)  
黄色囲いが大道沢



土地区画整理工事中の大道沢



大道沢公園内を流れる小川(現在)

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

平成28年春、公民館で活動する仲間が集い、「またホタルの舞う姿が見たい」という想いをきっかけに活動をスタート。専門家や市内の他団体にも協力を仰ぎ、公園の成り立ちと構造、ホタル生息の可能性を知る環境調査を1年かけて行いました。結果、課題はあるが、可能性はゼロではないという結論に至り、平成29年度からホタル復活に向けて本格的に活動をはじめました。

当時の小川は、全面シート張りの上にモルタルが

塗られ、護岸は、石材かコンクリート、土手は、固い裸地でホタルの生息条件には程遠い状況でしたが、育成区域を定め、「花木の植栽」「小川に蛇籠を敷設」「土手の土壌改良」「公園全域のごみ回収」をするなど、公園利用者に配慮しつつ、ホタルが生息可能とする環境整備を行いました。ホタルの幼虫の確保・育成にあたっては、親ホタルを近隣の保護団体の協力で同エリアで確保するなど常に生物多様性の保全に留意して活動しています。



大道沢公園についての学習会



専門家との現地調査



土手の土壌改良

## 3 活動の成果や波及効果等

移住者が多い当地域において、ホタルが舞う大道沢公園が新旧住民の融和を象徴する空間となっています。

小学校からの提案で、総合的な学習の時間として、児童が継続的に地域や環境学習を行う「児童とプロジェクトメンバーの協働活動」に位置づけ、令和元年度から取組を進めています。

子どもたちは、初めて見るホタルに感動し、地域や自然に興味を持ち、小さな体験をこころにとどめています。移住者は故郷で見たホタルとその情景を、地域出身者は昔見た風景(土地区画整理前)を思い出し、感動しています。

ホタル観賞に来る方は、家族連れ(親子、三世代)や車いすの人もおり、世代間交流が進んでいます。近隣住宅の理解と鑑賞者のマナーにより、苦情や駐車違反などのトラブルもなく、地域の交流が深まっています。



大道沢公園に  
ホタルが飛んだ



生きもの調査



大切な情報発信ツール

所在地	千葉県君津市空師
活動主体及び連絡先	大道沢公園ホタルプロジェクト mail:a5-taka@jcom.home.ne.jp
対象となる社会資本	大道沢公園・大道沢北公園

## 喜びの声



### 受賞者

大道沢公園  
ホタルプロジェクト  
会長  
新井 孝男  
(左から3人目)

### コメント

幼虫放流のホタル飛翔はまだ通過点です。公園で羽化した成虫が卵、幼虫、蛹、成虫となる循環(生活史)ができて真のホタル復活。そのための環境改善をさらに進めて行きます。ホタルをきっかけに、より多くの人たちが公園を、そして地域を好きになり、より良い地域づくりの輪が広がることを願います。次世代につなぐ仲間を増やし、ホタルが舞い続ける努力を続けます。手づくり郷土賞から、その力をいただきました。ありがとうございました。

### 活動の内容

- ホタルの生息可能性の環境調査
- 自宅及び小学校でのホタル幼虫の育成
- 花木の植栽や小川への蛇籠の敷設、土手の土壌改良などの環境整備
- 定期的公園全域のごみ回収
- 小学生との生きも調査や幼虫の放流、環境学習
- 環境省・国土交通省の全国水生生物調査
- 公園内の会員手作り掲示板へ活動掲示
- 地域の文化祭等でパネル展示、幼虫生態展示など

### 活動の経歴

- 平成28年 大道沢公園ホタルプロジェクト準備会設立。環境調査開始
- 平成29年 大道沢公園ホタルプロジェクト設立
- 令和元年 幼虫育成・ホタル羽化成功。幼虫放流開始
- 令和2年 ゲンジホタル飛翔
- 令和5年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# 無人駅で賑わいの創出

特定非営利活動法人  
中郷区まちづくり振興会 新潟県 上越市



## 1 社会資本の概要

二本木駅は、明治44年に国有鉄道の駅として開業し、昭和62年に民営化に伴いJR東日本・JR貨物の駅となりました。平成27年に北陸新幹線長野駅～金沢駅間延伸開業に伴い、えちごトキめき鉄道へ移管されました。二本木駅は、無人駅ですが当団体が委託して、構内清掃などの駅運営を実施しています。

令和元年には、駅舎やホーム上屋などの7カ所が登録有形文化財に登録されるなど、当地区の歴史を残す施設であり、新潟県内の鉄道駅として唯一、スイッチバック式のホームが残る駅です。



二本木駅



二本木駅スイッチバック



二本木駅舎 ホーム

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

平成27年にJR東日本からえちごトキめき鉄道へ移管・開業を契機に、地域の新たな観光資源とする取組を開始しました。待合室を改修し、喫茶「さとまる一む」を開業。「さとまる一む」は、365日営業を行い、二本木駅来訪者のおもてなしや地域の憩いの場となっています。

また、平成31年から二本木駅が無人化となり、当

団体がえちごトキめき鉄道から駅業務を委託しており、構内清掃・美化活動、駅運営を行っていることや、上越市が管理する駅前駐車場トイレの清掃作業を行うなど、持続可能な取組を行っていることや、地域の活動団体と連携して「二本木駅鉄道まつり」やリゾート列車「雪月花」運行時に乗客のおもてなしをするなど、交流人口拡大に寄与しています。



喫茶「さとまる一む」の様子



スイッチバック市の開催状況



二本木駅の美化活動

## 3 活動の成果や波及効果等

「さとまる一む」は、地域の方が店員となることで、安心感のある地元の喫茶店として、二本木駅来訪者や地元住民がリピート客が増えている。

「二本木駅スイッチバック市の開催」や地域の活動団体と連携し、リゾート列車「雪月花」運行時の乗客おもてなし等の取組により、駅を訪れる方の人数は年間4,000人以上となり、活動を始めた8年前から約1,000人以上増えました。



喫茶「さとまる一む」の接客状況



鉄道まつりの開催状況



リゾート列車「雪月花」のお出迎え



リゾート列車「雪月花」乗客へのおもてなし

## 喜びの声



### 受賞者

特定非営利活動法人  
中郷区まちづくり振興会  
理事長  
岡田 龍一

### コメント

平成27年から地域の魅力ある場所「二本木駅」を活用してきて事業が、認めていただいたことに感謝いたします。それも関係者・地域の皆さんのおかげだと思います。今後も、更なる魅力あるまちづくりを目指し継続して活動を続けていき、そして、多くの皆さんの憩いの場所、利用しやすい駅でお越しをお待ちしております。

### 活動の内容

- 喫茶「さとまる一む」の運営
- 二本木駅スイッチバック市の開催
- 地域の活動団体と連携した「雪月花」運行時の乗客おもてなしなど

### 活動の経歴

- 平成27年 JRからえちごトキめき鉄道(株)に変更駅を活用した開業イベント等を開始
- 平成28年 リゾート列車「雪月花」運行開始に伴いおもてなし・物販販売開始 月2喫茶営業
- 令和元年 えちごトキめき鉄道(株)より業務委託開始 それに伴い喫茶「さとまる一む」365日営業開始
- 令和 5年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞

所在地 新潟県上越市中郷区板橋552

活動主体及び連絡先 特定非営利活動法人 中郷区まちづくり振興会  
TEL:0255-74-2455

対象となる社会資本 二本木駅  
※管理者 えちごトキめき鉄道(株)



# 「人と自然の交流拠点」 しのぶ砂防堰堤



## 1 社会資本の概要

しのぶ砂防堰堤は、平湯川の洪水や土砂災害を防止する目的で造られた平湯川最下流に位置する砂防堰堤です。全国的にも珍しい「砂防堰堤の中」に入ることができる施設です。周辺には、「しのぶ砂防ダム親水公園」があり、新平湯温泉の癒しスポットとなっています。

当地区は、「たるま姫伝説」が残る縁結びの地としても有名で、公園内には、縁結びの神様を祀

った「毛受母の社」や奥飛騨の名水「たるま水」が滴る「たるまの滝」などがあり、新平湯温泉のパワースポットとして人気です。

冬には、凍てついた「たるまの滝」がライトアップされ、砂防ダム監査廊内に数万個のLED電球で幻想的に装飾される「タルマかねこおりライトアップ」が開催されます。



しのぶ砂防堰堤



しのぶ砂防堰堤とたるまの館



光のオブジェ

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

平成11年に「しのぶ砂防堰堤」が竣工したことを契機に、砂防施設周辺を地域活性化で活用する取組がスタートしました。

砂防施設を域内に持つ奥飛騨温泉郷一重ヶ根町内会を中心として、地域で活動する観光団体が当該地域の付加価値向上を目的として、冬季に「たるま

の滝」や氷のオブジェクトのライトアップをしのぶ砂防堰堤を含め一体的に行うとともに、堰堤監査廊内をイルミネーション装飾により幻想的な風景の演出や砂防堰堤内に地域栽培の蕎麦の実を熟成保存し、「川床そば」としてそば祭りでは振る舞っているなど、来訪客の増加と認知度の向上になっています。



しのぶ砂防堰堤とたるまの滝  
ライトアップ



しのぶ砂防堰堤監査廊  
イルミネーション



しのぶ砂防堰堤周辺での  
そば祭り開催

## 3 活動の成果や波及効果等

しのぶ砂防堰堤整備前の当団体の取組は、見せる観光であったが、当施設との関わりを機にそれを活用して、癒しを味わうなど体感・体験を主とした観光へ変化しており、時代のニーズにあわせた取組を行っています。

また、全国的にも珍しい砂防堰堤に入ることができる施設のため、防災施設としての役割のみならず様々な活用できる施設として体感いただきSNS等を通じて話題にいただいています。



たるまの館を活用した  
観光客参加イベント



ライトアップとあわせ  
「氷のBar」で来場者をおもてなし



設置したモニュメント  
で賑わい



テントサウナで癒やしの場  
の創出

## 喜びの声



### 受賞者

一重ヶ根町内会  
会長  
野澤 和博

### コメント

この度「手づくり郷土賞」を受賞し大変光栄に存じます。受賞を励みにして、今後も地域の発展、若い世代への継承に心がけ、行政や関係諸団体と連携して、「しのぶ砂防堰堤」を活かしたまちづくりに取り組み、更なる地域振興・観光推進に繋がる活動に取り組んでまいりたいと思います。

### 活動の内容

- 砂防堰堤のイルミネーション
- たるまの滝等のライトアップ
- そばの熟成保存、そば祭りの開催
- 魚道付近のため池を活用したテントサウナの開催
- 砂防堰堤周辺の美化活動、安全利用点検など

### 活動の経歴

- 平成11年 しのぶ砂防堰堤竣工
- 平成12年 町内会にて「しのぶ砂防堰堤」周辺整備開始
- 令和 5年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞

所在地	岐阜県高山市奥飛騨温泉郷一重ヶ根
活動主体及び連絡先	奥飛騨温泉郷一重ヶ根町内会 TEL:090-1410-2752
対象となる社会資本	しのぶ砂防堰堤 ※管理者 国土交通省北陸地方整備局 神通川水系砂防事務所 しのぶ砂防ダム親水公園 ※管理者 高山市



# 手づくり文化の発信から 公共地の官民連携活用へ



## 1 社会資本の概要

一宮市の中心市街地にある真清田神社は、平安時代に「尾張國一之宮」として位置付けられ、江戸時代から門前市「三八市」が開催されて、にぎわいを見せていました。その三八市が端緒となって門前町が発展し、やがて市道0135号線としてアーケードが設置された本町商店街を形成しました。

また真清田神社と市道0135号線の間にあった公共

地の活用を目的に、市民と神社関係者とのワークショップを重ね、平成15年に宮前三八市広場が完成しました。

現在では、多目的広場となった宮前三八市広場から市道0135号線周辺を会場として来場者3万人規模の「杜の宮市」が開催されるなど、社会資本の活用がなされる空間となっています。



宮前三八市広場



本町通り



本町通りアーケード

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

真清田神社の門前町として栄えてきた一宮市の中心市街地は、繊維産業の隆盛を背景に非常に繁栄していましたが、産業の衰退や、名古屋駅まで電車で約10分というアクセスの良さが逆に災いもし、人が集まりにくいまちとなっていました。

そうした中、市民文化イベントの開催を繰り返す市民グループが、一宮をぬくもりとコミュニケーショ

ンあふれる手づくり文化の発信地としたいという思いから、真清田神社を基点にアートクラフト市「杜の宮市」を平成13年に開始しました。やがて宮前三八市広場や市道0135号線の公共空間等を活用し、衣食住全てと運営も手づくりの「杜の宮市」を官民連携もしながら20年以上継続しています。



杜の宮市での宮前三八市広場



杜の宮市での本町通り



杜の宮市での真清田神社境内

## 3 活動の成果や波及効果等

平成13年に数千人規模で始まった「杜の宮市」は、平成15年に宮前三八市広場も会場に、平成28年には本町通り(市道0135線)のアーケード南端まで会場を拡大。平成30年には、一宮駅周辺も会場となり、全国から出展400ブースほど、来場者3万人規模となりました。

20年の経験を地域へ還元し、志民連いちのみやは都市再生推進法人として一宮市ウォークブル社会実験事業を民の側から推進、多様な主体の多様なイベントが開催されるようになっていきます。



平成13年第1回杜の宮市



平成15年宮前三八市広場完成



多様なイベント開催へ



多様な活性化へ

## 喜びの声



### 受賞者

特定非営利活動法人  
志民連いちのみや  
理事長  
星野 博

### コメント

23年間の市民手づくり文化活動を経てこの度、光栄な「手づくり郷土賞」を頂戴したことを糧に、色々な学びの中で38年後の一宮の未来像を探り、誰にでも安全安心で多様性と個性ある地域を、そのプラットフォームを含めて、幾重にも重なる官民連携により今後も手づくりしていきたいと考えています。

### 活動の内容

- 市民イベント企画、支援事業
- コミュニティカフェ・地域クラフトビール工房運営事業
- 都市再生推進法人として中心市街地活性化事業
- 一宮市市民活動支援センター運営、市民団体中間支援事業
- 広報・啓発・交流事業

### 活動の経歴

- 平成11年 「杜の宮市」「三八屋」運営開始
- 平成17年 特定非営利活動法人志民連いちのみや設立
- 平成24年 「一宮市市民活動支援センター」受託運営開始
- 令和4年 都市再生推進法人(一宮市)指定

### 所在地

愛知県一宮市真清田1丁目100番2及び一宮市本町1丁目から4丁目地内

### 活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人 志民連いちのみや  
TEL:090-2265-9188

### 対象となる社会資本

宮前三八市広場及び市道0135号線  
※管理者 一宮市



# ひらかれた農山村地域社会の実現をめざして

特定非営利活動法人  
奥播磨夢倶楽部 兵庫県 宍粟市



## 1 社会資本の概要

旧国名の播磨（兵庫県中西部）の山間部にある奥播磨は、北は鳥取県東部（旧国名：因幡）、西は岡山県北部（旧国名：美作）と接しており、山陽と山陰を結ぶ国道29号が縦断しています。

国道29号沿線の揖保川流域や名水百選の千種川流域に広がる中山間地域である宍粟市は、棚田景観や紅葉の映える溪谷、日本の滝百選の原不動

滝、清流など、豊かで美しい自然や風景が四季折々の風情を織りなしています。しかしながら、まだ発掘されていない魅力ある地域資源がたくさん埋もれています。

また、域内には中国自動車道のインターチェンジもあり、京阪神をはじめ周辺エリアから豊かな自然を求めて多くの人々が訪れています。



宍粟市ひちりき神社のイチョウ



音水湖に架かるカラウコ大橋(国道29号)



「つなぐ棚田遺産」に選ばれた飯見の棚田での散策

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

奥播磨には、情報発信量が少ないため、周辺の地域と比べてもまだ認知されていない魅力的なスポット（棚田景観、紅葉の映える溪谷や滝・清流など）がたくさん存在していることから、これらの地域資源を発掘し活用した「フットパス」、「フェスタ」や「体験型ワークショップ」を開催し、地域の魅力発信を行っています。

「フットパス」は平成27年から実施しており、地元が案内役として集落内を巡り魅力的なコンテンツを紹介。兵庫県内からだけでなく、全国からの参加があり、地域間交流を推進しています。

近年は河川の植物観察や美化活動へ派生させ、サステナブルな生き方を模索する若い世代の参加も増えており、持続可能な地域づくりを目指しています。



地域資源の掘り起こし「フットパス」



地域資源の集結「フェスタ」



体験型ワークショップ

## 3 活動の成果や波及効果等

地域資源を活用した「フットパス」は、平成27年から取り組んでおり、令和5年7月までに宍粟市内で連携・協働した地域づくり団体や自治体総数は15団体であり、街道フットパスコースは15コースとなっています。

フットパスのコースづくりでは、棚田遺産登録地域や農園、営農組合、郷土研究会などに協力をいただき、魅力的な地域資源を紹介しています。

「フットパス」には兵庫県内からだけでなく、全国各地から参加いただき、年間約100名~150名規模で実施しています。

近年ではリピーターも多く、交流人口の増加にもつながっています。

これらの「フットパス」を河川の植物観察や美化活動へ派生させたことで若い世代の参加が増えたことから、植生調査や自然観察会により多世代の参加につなげていく予定です。

また、協働した団体や自治体関係者の中には、地域資源の再発見によって、さらに地元愛（地域づくりへの熱意）を強くされた方が増えるなど、波及的な効果も確認されています。



よい自然観察ウォーク



地域情報誌「To Next Harima」の刊行



揖保川での清掃活動



揖保川での清掃活動

所在地 兵庫県宍粟市山崎町山田184番地1

活動主体及び連絡先 特定非営利活動法人 奥播磨夢倶楽部  
TEL/FAX :0790-71-0083  
E-MAIL:okuharima-jimukyoku@outlook.jp

対象となる社会資本 国道29号沿線地域

## 喜びの声



### 受賞者

特定非営利活動法人  
奥播磨夢倶楽部  
理事長  
春名 千代

### コメント

奥播磨夢倶楽部は、平成26年12月に法人化し、今年でちょうど10年目を迎えます。節目にあたる年に栄誉ある評価をいただきましたことを、スタッフ一同大変うれしく思います。これまでの間に関わっていただいた皆さまに、感謝申し上げます。

今後も奥播磨夢倶楽部では、多様な人材がそれぞれに活躍できる「ひらかれた地域の実現」に向けて、邁進してまいります。

### 活動の内容

- 地域資源の掘り起こしと「フットパス」の開催
- 国道29号の地域資源を集結した「フェスタ」の開催
- 城下町の歴史資源を活用したイベントの開催
- 地域資源を活用した視察交流・体験型研修の受入
- ひらかれた地域づくりの情報を発信
- 地域づくり活動の支援

### 活動の経歴

- 平成26年 法人設立
- 平成27年 地域資源を活用したフットパス開始  
「地域情報誌」発刊
- 平成28年 視察交流・体験型研修を開始
- 令和5年 近畿風景街道 近畿優秀活動賞 受賞
- 令和5年 手づくり郷土賞（一般部門）受賞



活動拠点

宍粟市

兵庫県

鳥取市

鳥取県

鳥取市

鳥取県

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# 「幻の広浜鉄道今福線」を活かした地域活性化



今福線を活かす連絡協議会／浜田市 島根県 浜田市

## 1 社会資本の概要

広浜鉄道は、島根県浜田市と広島県広島市を結ぶ路線で、島根県側を広浜鉄道今福線と呼んでいます。この路線は、戦前(旧線)と戦後(新線)の2度にわたり計画・建設されながらも、戦争による中断と財政難による工事中止により完成することがなかった未成線で、「幻の広浜鉄道今福線」と呼ばれています。

旧線の鉄道遺構であるコンクリートアーチ橋が、平成20年に(公財)土木学会より「今福線のコンクリートアーチ橋群」として、選奨土木遺産に認定されました。路線が河川や道路と交差する箇所では、当時建設された橋台や橋脚を見ることで、ロマンやノスタルジーを感じることができる観光スポットとなっています。



4連アーチ橋(選奨土木遺産銘板)



新旧交差部の様子



橋脚群

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

平成20年の選奨土木遺産の認定や、浜田市でのシンポジウム開催により、今福線は「地域のお宝」として地元で認知されました。

平成28年、「広浜鉄道今福線」を価値ある資源として、観光交流や地域活性化に活かすべく、沿線の地域団体や県技術士会が連携して取り組めるよう「今福線を活かす連絡協議会」を結成しました。

協議会では、行政(遺構管理者)、地域団体(まちづくり委員会やガイドの会等)、専門技術者(島根県技術士会や大学)が、ウォーキング大会の開催、ツアーガイド、環境整備(草刈りや路盤整地等)、トイレ清掃、遺構の補修(漏水対策等)、遺構の技術研究やマップ作成など、それぞれの強みを活かしながら連携して活動をしています。



連絡協議会合同での遺構調査



シンポジウムの様子



ウォーキング大会開始式の様子

## 3 活動の成果や波及効果等

毎年2月に開催する今福線ウォーキング大会は、普段立ち入りができないトンネルの中や橋梁を見ることができるイベントで、県内外より200人を超える参加者があります。

そのほか、旅行会社が企画する遺構見学ツアーも好評で、一部の参加者から郵送された、お礼の手紙や写真は活動の励みになっています。

来訪者との交流のほか、未成線を活用する他団体とも交流やつながりができ、ネットワークの拡大を感じています。



第3回全国未成線サミットの様子



案内看板



インフラツーリズムの様子



環境整備の様子

## 喜びの声



### 受賞者

今福線を活かす連絡協議会  
会長  
勝田 二夫

### コメント

この度は、栄えある賞を賜り心より感謝申し上げます。連絡協議会を発足し、構成団体が様々なアイデアを出し合い活動してきたことが報われました。今後はこれまでの活動をさらに充実させ、地域のお宝である「幻の広浜鉄道今福線」を活かし、地域活性化や交流人口の拡大に精一杯取り組んでまいります。

### 活動の内容

- 今福線ウォーキング大会
- 植樹活動(桜の植樹)
- 環境整備(草刈り、路盤整備、トイレ清掃)
- 来訪者向け記載台の設置、管理
- イベントやツアー時のガイド
- 遺構の調査研究・計測・図面化、研究報告書作成(国立国会図書館へ納本)
- マップの作成

### 活動の経歴

- 平成26年 広浜鉄道今福線を活かすシンポジウム実行委員会(今福線を活かす連絡協議会前身)設立
- 平成27年 広浜鉄道今福線を活かすシンポジウム開催
- 平成27年 しまね景観賞
- 平成27年 まち・みどり・活動部門奨励賞受賞
- 平成28年 今福線を活かす連絡協議会設立
- 平成28年 今福線ウォーキング大会開始
- 平成30年 土木学会インフラツーリズム開催
- 令和2年 今福線ガイドの会活動開始
- 令和3年 第3回全国未成線サミット開催
- 令和5年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞

### 所在地

石見まちづくりセンター  
佐野分館(島根県浜田市佐野町イ337-1)

### 活動主体及び連絡先

広浜鉄道今福線を活かす連絡協議会  
TEL:0855-25-9531(浜田市観光交流課内)

### 対象となる社会資本

広浜鉄道今福線新線及び旧線(ともに未成線)



# 尾原ダム地域活性化の取組

～地域とともに10年、そしてこれからも～



さくらおろち湖活性化ネットワーク会議 / 中国地方整備局 出雲河川事務所 島根県 雲南市・奥出雲町

## 1 社会資本の概要

島根県雲南市と奥出雲町に跨るように建設された尾原ダム(さくらおろち湖)は、神話「ヤマタノオロチ」のモデルとして知られる一級河川斐伊川の上流に位置する多目的ダムです。島根県の県庁所在地である松江市や斐伊川下流に位置する出雲市の洪水浸水

被害の軽減等を目的に、平成24年3月に完成。防災・利水・環境を担うダムとしての機能の他に、ダム湖や周辺里山を活かした各イベントの中心となっており、多くの方に親しまれています。



尾原ダム



多くの人々が来場する  
クレストゲート点検放流イベント

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

尾原ダムを中心とする地域においては、ダム完成以来「地域に開かれたダム」、「つなげよう、育てよう、活かそう<さくらおろち湖>」を柱として活動を展開しています。尾原ダム水源地域ビジョンに計画されている事業について、47団体からなる「さくらおろち湖活性化ネットワーク会議」で議論・協調を図りながら、若い世代の発想も大切にしながら新たな取り組みにも挑戦しています。人の移動が制限されたコロナ禍には、

来場を心待ちしていたダムマニア向けに、点検放流イベントをYouTubeでライブ配信するなど活動の継続に努めました。

また、ダム完成から10年を迎えた令和4年度には、10周年記念ロゴマークを記したポロシャツや横断幕、懸垂幕を作成し、地域が一体となって尾原ダム完成10周年を盛り上げました。



地域住民や活動団体で協議調整を行い、取組内容を決定



尾原ダム完成  
10周年記念ロゴマーク



10周年記念イベントの様子

## 3 活動の成果や波及効果等

尾原ダム周辺で開催されているトレイルランニングレース、トライアスロン大会やレガッタ大会は、年々参加者が増えており、2030年に開催予定の「島根かみあり国民スポーツ大会」ではローイング(ボート)会場として選定されるなど、尾原ダム(さくらおろち湖)を含む周辺地域の地域活性化や知名度向上にもつながっています。

また、ダム湖まつりや点検放流イベント、ダム湖周辺の清掃活動は、斐伊川全体を巻き込んだ上下流域の交流イベントとしても定着してきています。



さくらおろち湖を利用した  
トライアスロン大会



尾原ダムさくらおろち湖周辺  
の美化活動



国民スポーツ大会  
ローイングコース  
(2030開催予定)  
を滑走するレガッタ



ダム湖まつりで松江市から  
借り受けた、松江堀川  
遊覧船

所在地	島根県雲南市木次町平田
活動主体及び連絡先	さくらおろち湖活性化ネットワーク会議 事務局 TEL:0854-48-9050 E-MAIL:katuyoukyou@yahoo.co.jp
対象となる社会資本	尾原ダム・さくらおろち湖

## 喜びの声



### 受賞者

さくらおろち湖活性化  
ネットワーク会議  
事務局

### コメント

このたびさくらおろち湖活性化ネットワーク会議が令和5年度「手づくり郷土賞」に選定されたことは、尾原ダムが完成し10年、さくらおろち湖周辺や尾原ダムを活用した上下交流イベントを地域の皆様や団体が実施してきたことを全国的に認められたものと喜んでいきます。

これからも、尾原ダム建設にご協力いただいた方々の想いを大切にしていきたいと思っております。

### 活動の内容

- まちづくりの推進活動
- 社会教育活動
- スポーツ振興活動
- 環境保全活動
- 地域イベント情報の発信

### 活動の経歴

平成24年	10月 さくらおろち湖を活性化する会設立
令和 2年	1月14日 さくらおろち湖活性化ネットワーク会議に改組



さくらおろち湖

尾原ダム

出雲八代駅

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# 港を拠点とした市民によるまちづくり活動

## ～みなとまち八幡浜の再生～

八幡浜港みなとまちづくり協議会／  
八幡浜市

愛媛県 八幡浜市



### 1 社会資本の概要

八幡浜みなとは、四国の西の玄関口である愛媛県八幡浜市に位置しており、「ふるさとの宝輝く!」のコンセプトの基、市民が行き交う空間づくり、市民が活躍できる舞台づくりを目的に平成25年4月に道の駅・みなとオアシスとしてオープンしました。

施設内の周遊を促すため、八幡浜の原風景である「だんだん畑と海」を望めるテーマパーク型の施設配置とした他、みなと内部の物販・飲食施設については

事業者が本気で取り組む土壌が形成できること、また事業者自身がコンセプトに合う施設が作れるメリットがあることから、当時のみなとオアシスや道の駅の施設としては例の少ない民設民営方式により整備しました。また、より多くの市民に港での様々な取り組みに主体的に関わっていただくため、気軽かつ多目的に使えるホール・会議室を整備しています。



八幡浜港



道の駅・みなとオアシス 八幡浜みなと全景

### 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

八幡浜港みなとまちづくり協議会は、フェリー航路があるものの旅客は「素通り」の状況であった八幡浜市において、「みなとまち八幡浜の再生」を合言葉に、平成15年に市民が中心となって「みなとまちづくり」に参加し活動する組織として設立し、市民アンケートや社会実験を重ね、平成20年に地域の特徴、市民の想いを反映させた「道の駅・みなとオアシス八幡浜みなと」に関する提言を市に提出し、本格的に取組みを進めてきました。

取組みの1つである「港弁(みなとべん)」は、鉄道の旅には「駅弁」、空港には「空弁」、海の旅にもそんな弁当を作ろうとの思いから生まれたもので、八幡浜港では4種類の港弁を商品化し、全国展開しました。この港弁をはじめとしたユニークな取り組みを全国に発信し、みなとの元気を高め、観光・文化・産業の発展に寄与したことが評価され、平成26年にはポートオブザイヤー2013(公益社団法人日本港湾協会主催)を受賞しました。



港弁(はものひつまぶし弁当)



地元高校生によるフェリー客見送り活動



八幡浜みなとでの交流活動

### 3 活動の成果や波及効果等

交流施設のホール及び会議室は多くの地域団体に活用され、稼働率(利用延日数/開業日数)は毎年100%を大きく超え、八幡浜みなとで開催されるイベント時には、各団体に成果披露の場として出演をいただいたり、スタッフとして協力していただく等、市民活躍の場としてしっかりと定着しています。

また、近年では令和4年11月に四国初となる「第13回みなとオアシスSea級グルメ全国大会in八幡浜」を誘致し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により3年ぶりの会場内で飲食可能なグルメイベントとして開催しました。さらに、積極的に市役所、商業施設及び各種団体(全国のみなとオアシスなど)と連携し、様々なイベントを企画・運営するなどした結果、「八幡浜みなと」は令和5年に10周年を迎えて累計1,000万人の来場者数を達成しました。



第13回みなとオアシスSea級グルメ全国大会in八幡浜



八幡浜みなと来場者1,000万人達成記念セレモニー



クリスマスオレンジフェスティバル



みかん&ちゃんぽんコンサート

### 喜びの声



#### 受賞者

八幡浜港みなとまちづくり協議会  
会長 谷本 訓男(右)  
副会長 木村 謙児(左)

#### コメント

今回の受賞の知らせを聞いた時に、まずは会員の皆さんに報告すると共に喜びを共有したいと思いました。やはり活動の原動力は、メンバーや関係団体、市民の皆さんのご協力なしでは、形作れなかったことなので、この喜びを分かちあいたいものです。しばし、この20年余の歩みをふり振り返り、皆さんと思い出話をしたいものです。

その上で、次なるステージに向け、新たなテーマである海洋環境問題に取り組むことや新たな仲間も増やせたらと考えております。

#### 活動の内容

- みなとを核とした交流イベントの開催
- 商店街活性化の方策についての提言
- 全国各地のみなとオアシスと連携した広報活動
- 海洋環境保全に向けた取り組み

#### 活動の経歴

- 平成15年 八幡浜港みなとまちづくり協議会設立
- 平成20年 「八幡浜港振興ビジョン実現に向けたまちづくり提言書」を市に提出
- 平成25年 道の駅・みなとオアシス八幡浜みなとオープン
- 平成26年 ポートオブザイヤー2013受賞
- 平成28年 全国初の「港湾協団体」に指定
- 令和 4年 第13回みなとオアシスSea級グルメ全国大会in八幡浜を開催
- 令和 5年 累計来場者数1,000万人を達成
- 令和 5年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞

所在地	愛媛県八幡浜市沖新田1581番地23
活動主体及び連絡先	八幡浜港みなとまちづくり協議会 TEL:0894-22-3111
対象となる社会資本	道の駅・みなとオアシス八幡浜みなと



八幡浜市役所、道の駅・みなとオアシス八幡浜みなと、千丈川、八幡浜浄化センター、松蔭小

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# 牧野富太郎博士への思いを紡ぐ 公園づくり ～みんなで育てる牧野公園～



牧野公園はなもりC-LOVE／佐川町 高知県 佐川町

## 1 社会資本の概要

牧野公園は、明治35年、植物分類学者である牧野富太郎博士がソメイヨシノの苗を佐川町に送り、地元有志が青源寺周辺に植えたことにはじまります。当時「奥の土居」と呼ばれていた牧野公園は一時戦争で荒廃しますが、商工会が中心に千本以上の桜苗を植えるなど公園の復活に尽力しました。昭和31年、牧野富太郎博士は名誉町民となります

が、翌昭和32年に96歳で亡くなりました。その年に町は奥の土居の土地を購入し、昭和33年に「牧野公園」と名付けられました。公園整備と共に遊覧道路も整備され、昭和35年に落成。桜は再び最盛期を迎え、平成2年には高知を代表する桜の名所として日本のさくら名所100選に選ばれました。



妻の壽衛さんと牧野富太郎博士



昭和初期  
花見客で賑わう「奥の土居」



1990年頃の「牧野公園」

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

牧野公園では平成20年から桜の再生事業を、平成26年からはリニューアル事業に取り組んできました。それと前後して、牧野博士や植物に思いを寄せる地域有志が活動を始め、牧野博士生誕150周年を契機に「牧野公園はなもりC-LOVE」が発足しました。

取組の内容は、週1回の博士ゆかりの山野草の育成や植栽、公園内の整備作業です。モットーは「楽しみながら自由に参加できること」。現在84人

の幅広い年齢層の会員が参加し、週1回の活動以外にもスキルアップのため年1回の視察研修も実施しています。

購入に頼らず自ら手塩にかけて育てた苗を植え、愛着がわく公園づくりを進めることで、参加している一人一人が自分ごととして活動に参加し、一過性のものでなく持続できる活動を行っています。



平成24年「はなもりC-LOVE」発足



平成26年「植栽会」



種から苗を育てる「種まき会」

## 3 活動の成果や波及効果等

牧野公園は、かつて、ほぼ桜だけを楽しむ公園でしたが、牧野博士ゆかりの山野草を中心に植栽することにより、四季折々、約700種類の植物が楽しめる公園となりました。

また、町の「まちまるごと植物園事業」の核となっており、住民が「育てる」を「楽しむ」場所として活用され、小中学生の総合学習等の教育の場にもなっています。

他にも「牧野富太郎博士生誕祭」が公園を中心として開催されたり、町内の他のグループの地域資源を活用した活動に影響を与えています。



牧野博士がこよなく愛した  
バイカオウレン



生誕祭での苗の販売



道の駅での「植栽会」



博士ゆかりの地を巡る  
遊歩道の整備  
(佐川さとやま遊友会)

## 喜びの声



受賞者

牧野公園はなもりC-LOVE  
山崎・田村

### コメント

10年間みんなの努力の成果が認められ、とてもうれしく思います。当初からの目標であった「佐川町の観光の中心地にしたい」ということが叶い、町内外から多くの方が来てくださる、愛される公園になったと感じています。これからもこの活動を継続し、さらに輪を広げながらさらに活動を盛り上げていきたいです。

### 活動の内容

- 牧野公園での除草や植栽、苗の育成等作業
- 小中学生の総合学習支援

### 活動の経歴

- 平成24年 牧野公園はなもりC-LOVE発足
- 平成29年 チーム佐川の日大賞受賞
- 令和5年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞

所在地 高知県高岡郡佐川町甲2458

活動主体及び連絡先 牧野公園はなもりC-LOVE  
TEL:0889-22-7740(佐川町まちづくり推進課)

対象となる社会資本 牧野公園  
(連絡先:さかわ観光協会 TEL:0889-20-9500)



# 国場川河口域で自然・環境学習の場づくり活動

特定非営利活動法人  
おきなわ環境クラブ 沖縄県 那覇市



## 1 社会資本の概要

国場川水系流域の漫湖沿いに整備された国道329号の遊歩道には緑地帯が整備され、自然に囲まれた憩いの場として多くの地域住民に利用されています。

国場川流域は沖縄県那覇市及びその周辺市町村に位置しており、国場川の河口の漫湖は平成9年に国設鳥獣保護区特別保護地区に指定され、平成11年に

ラムサール条約に登録された重要な湿地であり、貴重な自然を残す干潟やマングローブ林が形成され、野鳥をはじめ多くの生物の良好な生息場となっています。

環境保全についての学習や湿地帯に生息するマングローブをはじめ水鳥やハゼなどの生き物を観察できるなど学習の場としても活用されています。



地元小学生の環境学習



遊歩道沿いのサガリバナ



修学旅行生への環境学習

## 2 取組の背景、取組概要と創意工夫

平成11年に設立して以降、都市開発の埋め立てによって失われた自然再生活動として国道329号遊歩道沿い緑地帯等の美化活動や水辺緑化活動を実施しています。特に、サガリバナの植樹及び植栽後の生育管理を長年継続しており、これまでに総数1,000本以上を植栽していることに加え、希少種のナハキハギやサキシマスオウノキも植栽していま

す。また、植栽活動と自然観察、河岸漂着物の観察・調査クリーンアップを組み合わせ、環境学習プログラムを開発し展開するなど参加者の拡大に努めています。また、水辺緑化ボランティア活動は毎月1回定期的に行っており、活動に際して、保険への加入や道具の貸し出しをするなど、活動に参加しやすいように工夫をしています。



ボランティア活動と組み合わせた自然観察



植樹活動



水辺緑化ボランティア (毎月開催)

## 3 活動の成果や波及効果等

20年以上前から自然再生活動としてサガリバナの植樹を開始し、今ようやく多くの花をつけるまで成長するなど、成果が現れてきたところです。

サガリバナは夜に花を咲かせる南国の魅力的な花木であるため、ライトアップ等のイベントを開催し、地域活性化につなげる取組みを行っています。

また、環境学習プログラムの多様化やガイド人材の育成を図ることで、地域住民の環境に対する関心を高めることができる体制を充実させていきたいです。



サガリバナ観賞会



サガリバナの取り木



環境学習:ごみ調査



環境学習:自然観察

## 喜びの声



### 受賞者

特定非営利活動法人  
おきなわ環境クラブ  
会長  
下地 邦輝

### コメント

私たちの活動に対し、今回表彰をいただき光栄に思います。ここ国場川河口域一帯においては、自然・環境の学習の場づくりを目指して水辺緑化と学習プログラムの開発・実践を行ってまいりました。受賞を契機に学習の場づくり活動に更なる磨きをかけ、活動の継続・発展を目指してまいります。表彰ありがとうございました。

### 活動の内容

- 水辺の緑化ボランティア活動
- 地元住民などを対象とした環境学習
- 修学旅行生を対象とした環境学習
- 水辺の植物サガリバナのライトアップ地域イベント

### 活動の経歴

- 平成11年 おきなわ環境クラブの設立
- 平成14年 法人認定
- 令和2年 道路愛護団体 国土交通大臣賞表彰

所在地	沖縄県那覇市
活動主体及び連絡先	特定非営利活動法人おきなわ環境クラブ TEL:098-833-9493
対象となる社会資本	那覇市鏡原町国道329号遊歩道沿い緑地帯



# 年度別テーマ一覧

## 年度別テーマ一覧 (Part1～Part38)

Part1 昭和 61年度	人と風土が育てた家並 ふるさとが誇りとする橋 ふれあいの水辺	30選 30選 30選	Part11 平成 8年度	テーマを設定せず	37選	Part21 平成 18年度	地域整備部門 地域活動部門 大賞部門	7選 14選 9選	Part31 平成 28年度	一般部門 大賞部門	20選 2選
Part2 昭和 62年度	いきいさとした楽しい街並み ふれあいの並木道 水辺の風物詩	30選 30選 30選	Part12 平成 9年度	テーマを設定せず	40選	Part22 平成 19年度	地域整備部門 地域活動部門 大賞部門	7選 9選 11選	Part32 平成 29年度	一般部門 大賞部門	16選 3選
Part3 昭和 63年度	小さなふれあいの広場 ふるさとに恵みを与える川 やすらぎとうるおいのある歩道	30選 30選 30選	Part13 平成 10年度	テーマを設定せず	38選	Part23 平成 20年度	一般部門 大賞部門	13選 2選	Part33 平成 30年度	一般部門 大賞部門	20選 3選
Part4 平成 元年度	いこいとふれあいの道 生活の中にいきる水辺 歴史をいかした街並み	30選 30選 30選	Part14 平成 11年度	テーマを設定せず	32選	Part24 平成 21年度	一般部門 大賞部門	17選 2選	Part34 令和 元年度	一般部門 大賞部門	20選 4選
Part5 平成 2年度	街灯のある街角 生活を支える自然の水 花と緑の手づくりふるさと ふるさとの坂道	30選 30選 30選 30選	Part15 平成 12年度	テーマを設定せず	30選	Part25 平成 22年度	一般部門 大賞部門	22選 3選	Part35 令和 2年度	一般部門 大賞部門	13選 3選
Part6 平成 3年度	施設部門 素材部門	30選 30選	Part16 平成 13年度	地域整備部門 地域活動部門	20選 9選	Part26 平成 23年度	一般部門 大賞部門	12選 4選	Part36 令和 3年度	一般部門 大賞部門	12選 1選
Part7 平成 4年度	くらしに根づく施設 ふるさとの色と光	30選 30選	Part17 平成 14年度	地域整備部門 地域活動部門	15選 11選	Part27 平成 24年度	一般部門 大賞部門	16選 2選	Part37 令和 4年度	一般部門 大賞部門	16選 1選
Part8 平成 5年度	自然とふれあう水辺づくり 出合いを演出する街角 ふるさとの風景にとけこむ道	30選 30選 30選	Part18 平成 15年度	地域整備部門 地域活動部門	13選 10選	Part28 平成 25年度	一般部門 大賞部門	17選 3選	Part38 令和 5年度	一般部門 大賞部門	13選 2選
Part9 平成 6年度	人々が集い憩う水辺づくり ふるさとの文化を育む街角の広場 ふるさとを紹介する道	30選 30選 30選	Part19 平成 16年度	地域整備部門 地域活動部門	6選 11選	Part29 平成 26年度	一般部門 大賞部門	15選 4選			
Part10 平成 7年度	コミュニティー部門 自然部門 歴史・文化部門	30選 30選 30選	Part20 平成 17年度	地域整備部門 地域活動部門 大賞部門	8選 12選 37選	Part30 平成 27年度	一般部門 (公開審査による選考) 大賞部門	15選 7選			

# 選定案件一覧

## 選定案件一覧

### 昭和 61 年度

#### 人と風土が育てた家並

都道府県	市区町村	件名
青森県	黒石市	こみせ ★H17 大賞
秋田県	仙北市	武家屋敷 ★H17 大賞
山形県	上山市	榎下宿 ★H17 大賞
福島県	喜多方市	蔵のまち
福島県	下郷町	大内宿 ★H17 大賞
群馬県	栃木市	巴波川沿川家並 ★H17 大賞
群馬県	甘楽町	小幡城下町の伝統的家並
新潟県	上越市	高田の雁木 ★H17 大賞
富山県	高岡市	銅器のまち金屋町通り ★H17 大賞
富山県	南砺市	信仰と木彫の里八日町通り
石川県	金沢市	長町武家屋敷群
長野県	南木曾町	妻籠宿の家並 ★H19 大賞
岐阜県	高山市	三之町の家並
岐阜県	恵那市	旧家の家並
岐阜県	白川村	合掌集落
愛知県	名古屋市中区	有松
滋賀県	大津市	石積みの町
滋賀県	東近江市	五個荘町金堂 ★H17 大賞
和歌山県	新宮市	別当屋敷町の家並
鳥取県	倉吉市	土蔵造りの家並 ★H17 大賞
鳥取県	津和野町	藩政時代の街並 ★H17 大賞
岡山県	倉敷市	倉敷市の伝統的街並 ★H17 大賞
広島県	竹原市	竹原市伝統的町並 ★H24 大賞
徳島県	美馬市	うだつと白壁の町並 ★H17 大賞
香川県	丸亀市	本島笠島集落家並
佐賀県	有田町	ドンバイ堀のある裏通り
長崎県	長崎市	長崎新地中華街
宮崎県	日向市	美々津の歴史的街並 ★H17 大賞
鹿児島県	知覧町	武家屋敷通り
沖縄県	竹富町	竹富町家並 ★H17 大賞

#### ふるさとが誇りとする橋

都道府県	市区町村	件名
北海道	上砂川町	野鳥の橋
北海道	藤崎町	北野橋
岩手県	盛岡市	御殿橋
秋田県	横手市	学校橋
山形県	上山市	新町めがね橋
山形県	長井市	撞木橋
福島県	喜多方市	東大橋
埼玉県	川口市	青木橋
埼玉県	草加市	辰井川6橋
東京都	港区	中之橋
神奈川県	横浜市	夕照橋
新潟県	新潟市	万代橋
富山県	射水市	虹の神楽橋
石川県	金沢市	犀川大橋
福井県	福井市	新明里橋
山梨県	大月市	猿橋
長野県	飯綱町	天の浮橋
岐阜県	恵那市	大井橋
静岡県	浜松市	枕瀬橋
三重県	菟野町	あかね橋
大阪府	大阪市	錦橋
奈良県	十津川村	谷瀬橋
岡山県	岡山市	相生橋
広島県	広島市	横川橋
徳島県	三好市	祖谷のかずら橋
愛媛県	西条市	伊曾の橋
高知県	安芸市	土居橋
長崎県	長崎市	長崎中島川石橋群
熊本県	山都町	通潤橋
熊本県	津奈木町	あけぼの橋

#### ふれあいの水辺

都道府県	市区町村	件名
北海道	札幌市	鴨々川遊び場
北海道	福島町	新緑公園
岩手県	一関市	鑿井川
宮城県	栗原市	迫川

山形県	山形市	馬見ヶ崎川
茨城県	潮来市	潮来漕艇場
群馬県	前橋市	広瀬川河畔緑地緑道 ★H17 大賞
群馬県	桐生市	境野水処理センター屋上公園
千葉県	船橋市	街かど美術館
東京都	江戸川区	小松川境川親水公園 ★H17 大賞
神奈川県	小田原市	小八幡川親水護岸
富山県	小矢部市	花菫蒲の小矢部河川公園
岐阜県	岐阜市	早田川
愛知県	名古屋市中区	水の小径
滋賀県	近江八幡市	八幡堀 ★H17 大賞
滋賀県	高月町	雨森 ★H17 大賞
京都府	南丹市	大堰川・夷天堰
大阪府	岸和田市	古城川緑道
兵庫県	尼崎市	武庫川六橋水系、ホテルの里づくり
鳥取県	鳥取市	流しびの水辺
岡山県	岡山市	三之川緑道公園 ★H17 大賞
広島県	大崎上島町	野賢海岸
広島県	福山市	堂々公園
山口県	山口市	佐波川埜の川
愛媛県	西予市	野村ダム公園 ★H18 大賞
高知県	土佐市	早明湖ふれあい広場
福岡県	北九州市	槻田せせらぎ広場
佐賀県	佐賀市	多布施川水遊び場
大分県	竹田市	中島河川プール
宮崎県	小林市	本庄川河川プール

### 昭和 62 年度

#### いきいきとした楽しい街並み

都道府県	市区町村	件名
青森県	田子町	サンモールたっこ
宮城県	仙台市	一番町ショッピングモール
秋田県	秋田市	秋田駅前貨物広場
山形県	酒田市	酒田市ショッピングモール
福島県	会津若松市	大町通り
茨城県	日立市	日立銀座ショッピングモール
茨城県	土浦市	川口ショッピングモール
埼玉県	川口市	ショッピングモールふじの市通り
千葉県	香取市	小野川周辺の町並 ★H17 大賞
東京都	中央区	鳥喰町商店街
東京都	中央区	東和銀座商店街
神奈川県	横浜市	イセザキモール
新潟県	十日町市	雪まつりと流雪満のまち
富山県	高岡市	ふれあいの橋通り
山梨県	南砺市	合掌家屋と民謡こきりこの里
長野県	佐久市	かすがもーる
長野県	佐久市	中込グリーンモール
岐阜県	岐阜市	美殿町通り
岐阜県	可児市	桜ヶ丘ハイツの街並みと家並み
京都府	京都市	三条通り歴史的かいわい景観地区
大阪府	岸和田市	岸和田駅前通り
兵庫県	神戸市	北野町山本通 ★H17 大賞
和歌山県	高野町	高野町内街路
岡山県	高梁市	ふれあい広場と観音地区
徳島県	徳島市	紺屋町シンボルロード
福岡県	福岡市	大橋駅前通り
佐賀県	有田町	陶磁の香りのする駅前通り
岡山県	岡山市	日田の街並
宮崎県	日南市	本町商人通りの街並 ★H25 大賞
沖縄県	沖縄市	中央パークアベニュー

#### ふれあいの並木道

都道府県	市区町村	件名
北海道	釧路市	出世坂
岩手県	北上市	展勝地公園
宮城県	仙台市	仙台市ケヤキ並木
山形県	高島町	まほろばの緑道
茨城県	日立市	けやき通りと歩道
栃木県	さくら市	桜並木線
群馬県	前橋市	ふるさとのケヤキ並木
埼玉県	春日部市	藤どおり
埼玉県	草加市	草加松原遊歩道

東京都	世田谷区	けやき広場
神奈川県	横浜市	大岡川プロムナード
神奈川県	川崎市	市役所通りモール
富山県	富山市	松川べり
石川県	金沢市	中央公園通り
岐阜県	中津川市	四ッ目川の桜並木
岐阜県	恵那市	岩村城登城坂
静岡県	浜松市	二俣川「水辺の桜並木」
三重県	津市	三多気の桜
大阪府	大阪市	みおつくしプロムナード
兵庫県	神戸市	税関線シンボルロード
兵庫県	宝塚市	花のみち
奈良県	橿原市	橿原神宮公苑緑の並木道
岡山県	岡山市	鳥城みち
広島県	呉市	美術館通り
広島県	竹原市	あひふる316
山口県	光市	なざさへの道
高知県	土佐清水市	足跡神橋の散歩道
福岡県	北九州市	出あい坂
長崎県	島原市	旧六郷用水の文化遺産保存事業
沖縄県	久米島町	フクギ並木と道路

#### 水辺の風物詩

都道府県	市区町村	件名
北海道	旭川市	せせらぎ小路
岩手県	盛岡市	御所湖広域公園 ★H18 大賞
秋田県	大仙市	雄物川河川緑地
栃木県	下野市	大松山運動公園
埼玉県	さいたま市	千貫橋水郷公園
千葉県	千葉市	稲毛海浜公園
新潟県	新潟市	早川堀のイメージ復元
富山県	黒部市	黒部川扇状地の湧水群
石川県	金沢市	浅野川+加賀友禅花ろう流し
福井県	大野市	お清水
長野県	上田市	長池公園のせせらぎ広場
静岡県	浜松市	森の水車
愛知県	名古屋市中区	宮の渡し公園
愛知県	名古屋市中区	庄内用水緑道
滋賀県	愛荘町	新愛知川フrawープロムナード
大阪府	大阪市	河川(今川)「せせらぎの復活」
和歌山県	白浜町	白良浜
鳥取県	湯梨浜町	東郷湖
島根県	松江市	北松江の宍道海岸
広島県	廿日市市	紅葉谷川庭園砂防 ★H17 大賞
広島県	安芸高田市	土師が「ムギ」-ラウンド ★H18 大賞
山口県	山口市	一の坂川「ホテル護岸」 ★H17 大賞
山口県	周南市	東川緑地公園
香川県	丸亀市	土器川河川敷広場
愛媛県	大洲市	脇川の鑑賞
高知県	高知市	鏡川みどりの広場
福岡県	朝倉市	朝倉の三連水車
熊本県	宇土市	轟水原
大分県	別府市	境川の水辺
鹿児島県	加治木町	網掛川

### 昭和 63 年度

#### 小さなふれあい広場

都道府県	市区町村	件名
岩手県	奥州市	蔵のあるポケットパーク
宮城県	加美町	さわくら公園
山形県	鶴岡市	やすらぎ広場
茨城県	古河市	古河市庁舎広場
群馬県	館林市	富士原憩の森
埼玉県	川口市	辰井公園
埼玉県	草加市	おせん茶屋
埼玉県	さいたま市	うらわセントラルガーデン
東京都	港区	パテオ十番おまつり広場
東京都	荒川区	日暮里南公園噴水広場
神奈川県	横浜市	金沢埋立地水際緑地
新潟県	十日町市	あじさい公園
長野県	岡谷市	高架下公園
岐阜県	岐阜市	西野町コミュニティ水路

岐阜県	高山市	市制50周年記念公園
滋賀県	甲賀市	みよで公園
大阪府	大阪市	御津公園(タクスケクヱア)整備
兵庫県	神戸市	摂津本山駅前南広場
鳥取県	鳥取市	鳥取駅南モニュメント広場
岡山県	鏡野町	鏡野万葉のみちシンボル広場
広島県	福山市	春日池公園
山口県	防府市	西佐波緑地
香川県	高松市	北部コミュニティ広場
愛媛県	今治市	片原緑地
愛媛県	大洲市	丸山公園
福岡県	福岡市	水上公園
長崎県	長崎市	丸山公園
長崎県	浜市	浜の1共同洗い場
大分県	中津市	耶馬溪ダム記念公園
沖縄県	浦添市	屋祖巻ポケットパーク

#### ふるさとに恵みを与える川

都道府県	市区町村	件名
岩手県	盛岡市	山岸せせらぎ水路
岩手県	宮古市	津軽石川堤防
岩手県	花巻市	田瀬湖ふるさと湖畔
宮城県	加美町	鳴瀬川中新田緑地
秋田県	横手市	横手市の流雪溝
茨城県	大子町	久慈川親水護岸
東京都	大田区	旧六郷用水の文化遺産保存事業
神奈川県	横浜市	和泉川親水広場
神奈川県	川崎市	二ヶ領用水(宿河原線) ★H17 大賞
新潟県	加茂市	加茂川修景
富山県	南砺市	七福の森・向川砂防堰堤
福井県	若狭町	浦見川
山梨県	身延町	下部リバーサイドパーク
山梨県	甲斐市	信玄堤 ★H19 大賞
山梨県	南アルプス市	滝沢川公園
中川村	理兵衛堤防	
飛騨市	瀬戸川	
滋賀県	安土町	鏡の浜
兵庫県	神戸市	住吉川清流
兵庫県	姫路市	漣河公園
和歌山県	紀の川市	せせらぎ水路
岡山県	総社市	砂川公園
広島県	広島市	古川せせらぎ河川公園
山口県	北関市	壇見川
山口県	萩市	藍場川
徳島県	阿南市	万代堤
香川県	まんのう町	満濃池
高知県	四万十市	渡川第二緑地
高知県	香美市	物部川緑地公園
佐賀県	有田町	自然とのふれあい空間

#### やすらぎと自然のある歩道

都道府県	市区町村	件名
北海道	旭川市	七条緑道イルミネーション
青森県	青森市	遊歩道緑地・平和公園
秋田県	秋田市	山王散歩道
福島県	福島市	市道中町御山町線コミュニティ遊歩道
栃木県	日光市	くらがね橋歩道
群馬県	大泉町	いきなり緑道
埼玉県	八潮市	松の木どくろ遊歩道
千葉県	市川市	桜並木の散策路
東京都	港区	ふれあいの道(竹芝橋橋~増上寺)
東京都	町田市	尾根緑道
神奈川県	横浜市	磯子アベニュー
神奈川県	藤沢市	引地川(川べり遊歩道)
神奈川県	相模原市	横浜水道道緑道
石川県	金沢市	香林坊地下道
静岡県	沼津市	蛇松緑道
愛知県	名古屋市中区	中村散歩緑道
三重県	鈴鹿市	四季の道
滋賀県	甲賀市	炎の美通り
大阪府	豊中市	蛍舞い飛ぶ自然の親水緑道
兵庫県	神戸市	酒蔵の道
兵庫県	奈良市	酒蔵の道
鳥取県	鳥取市	旧袋川通り左岸線彫刻の道

島根県	松江市	浜乃木ふれあいモール
広島県	広島市	藤棚の道
広島県	呉市	蔵本通り
山口県	光市	水鳥の道
愛媛県	松山市	遊歩道熟田津の道
福岡県	北九州市	三萩野やすらぎ通り
宮崎県	宮崎市	後田川緑道 ★H19 大賞
鹿児島県	知覧町	清流溝と池

### 平成元年度

#### いこいとふれあいの道

都道府県	市区町村	件名
北海道	下川町	万里の長城遊歩道
北海道	洞爺湖町	湖畔通り ★H17 大賞
秋田県	秋田市	中橋通り
山形県	尾花沢市	「歴史の道」
福島県	福島市	都市計画道路野田線
埼玉県	さいたま市	ショッピングモールさくら草通り
千葉県	鴨川市	海浜プロムナード(鴨川湖さい公園)
東京都	足立区	北千住サンロード
東京都	国分寺市	お鷹の道遊歩道 ★H17 大賞
新潟県	新潟市	西海岸公園の散策路
新潟県	長岡市	駅東歩行者専用道(長岡シンボルロード)
石川県	白山市	歴史を刻み今に残すふれあいのみち
石川県	七尾市	万葉の里コミュニティ道路
山梨県	早川町	やすらぎの参道
岐阜県	中津川市	中津川遊歩道公園
愛知県	名古屋市中区	ジョギングロード
京都府	福知山市	三段池公園
大阪府	堺市	学園ロード整備事業
大阪府	高槻市	阿武野緑道
兵庫県	姫路市	城西4号線
兵庫県	西宮市	市役所前線
兵庫県	猪名川町	彫刻の道
兵庫県	播磨町	緑道あいのみち
広島県	広島市	並木通り ★H19 大賞
山口県	萩市	しろ魚の道
愛媛県	今治市	県木の森ふれあい散策道
高知県	高知市	長浜654号線
佐賀県	有田町	有田文様の道
長崎県	佐世市	佐世保川岸線プロムナード・ギャラリー
熊本県	熊本市	長瀬通り

### 平成2年度

#### 街灯のある街角

都道府県	市区町村	件名
岩手県	盛岡市	赤レンガ建物のライトアップとガス灯
宮城県	仙台市	ガス燈のある街 五番街
茨城県	牛久市	シャトー通り
茨城県	つくば市	交差点ゲートサイン
栃木県	宇都宮市	まちなか広場
埼玉県	川口市	本町通り
埼玉県	草加市	草加六丁目橋
千葉県	市川市	市川市文化会館アプローチ歩道
東京都	北区	音無親水公園
東京都	江戸川区	太陽エネルギー灯
神奈川県	横浜市	新横浜駅前プロムナード整備事業
神奈川県	秦野市	奏野駅前歩行者専用道
神奈川県	秦野市	水無川緑地 ★H17 大賞
新潟県	新潟市	八千代橋
富山県	朝日町	紅灯よみがえる神田町
富山県	南砺市	合掌のこもれ灯
石川県	加賀市	万松園通線
福井県	越前町	ハナミズキ通り
長野県	塩尻市	鯉川開所散策小道
静岡県	浜松市	サンクンガーデンとギャラリーモール
静岡県	河津町	踊子歩道
山形県	山形市	「はたるをモチーフにした街路灯通り
滋賀県	京都府	五条坂街灯のある清水焼の街
京都府	京都市	山街街路灯
鳥取県	倉敷市	倉敷中央通り街灯
岡山県	岡山市	五月橋
岡山県	周南市	緑と文化のプロムナード
香川県	宇多津町	宇多津散策公園線
愛媛県	今治市	ヤナギの並木みち
佐賀県	佐賀市	松原川ロマンティックエリア
鹿児島県	鹿児島市	ガス燈のともる歴史と文化の道

選定案件一覧

生活を支える自然の水

Table with columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists water-related projects across various prefectures.

花と緑の手づくりふるさと

Table with columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to flowers and green spaces.

ふるさとの坂道

Table with columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to hometown trails and paths.

Table with columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects from various prefectures (continued).

平成3年度

施設部門

Table with columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists facility-related projects.

素材部門

Table with columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to materials and construction.

Table with columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects from various prefectures (continued).

平成4年度

くらしに根づく施設

Table with columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to daily life facilities.

ふるさとの色と光

Table with columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to hometown colors and light.

Table with columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects from various prefectures (continued).

平成5年度

自然とふれあう水辺づくり

Table with columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to waterfront development.

出会いを演出する街角

Table with columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to street corners and encounters.

Table with columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects from various prefectures (continued).

ふるさとの風景にとけこむ道

Table with columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to hometown scenery and roads.

平成6年度

人々が集い憩う水辺づくり

Table with columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to waterfront development for people to gather and relax.

Table with columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects from various prefectures (continued).

ふるさとの文化を育む街角の広場

Table with columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to hometown culture and street corner squares.

ふるさとを紹介する道

Table with columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects related to roads that introduce hometowns.



岡山県 岡山市 表町おかみさん会による中心市街地活性化の取り組み

山口県 山口市 一の坂川ホテル護岸うだつと白壁の町並

兵庫県 赤穂市 あこう絵マップコンクール

大賞部門 都道府県 市区町村 件名

大分県 中津市 山国川発中津干潟 水でつながる

島根県 江津市 石州赤瓦と歴史を活かしたまちづくり

平成 17 年度

地域整備部門 都道府県 市区町村 件名

平成 18 年度

地域整備部門 都道府県 市区町村 件名

地域活動部門

都道府県 市区町村 件名

地域活動部門

都道府県 市区町村 件名

大賞部門

都道府県 市区町村 件名

大賞部門

都道府県 市区町村 件名

平成 19 年度

地域整備部門

都道府県 市区町村 件名

地域活動部門

都道府県 市区町村 件名

大賞部門

都道府県 市区町村 件名

平成 20 年度

一般部門

都道府県 市区町村 件名

大賞部門

都道府県 市区町村 件名

平成 21 年度

一般部門

都道府県 市区町村 件名

平成 22 年度

一般部門

都道府県 市区町村 件名

大賞部門

都道府県 市区町村 件名

平成 23 年度

一般部門

都道府県 市区町村 件名

平成 24 年度

一般部門

都道府県 市区町村 件名

大賞部門

都道府県 市区町村 件名

平成 25 年度

一般部門

都道府県 市区町村 件名

平成 26 年度

一般部門

都道府県 市区町村 件名

大賞部門

都道府県 市区町村 件名

平成 27 年度

一般部門

都道府県 市区町村 件名

選定案件一覧

茨城県	筑西市	鬼怒川の荒れた河川敷をお花畑に！交流の場に！～お花畑から広がるつながりの輪～
東京都	小平市	花と緑と笑顔にあふれる街づくり～こだいらグリーンロード～
石川県	七尾市	和倉温泉まちなか賑わい再生と景観づくり
岐阜県	都上市	清流長良川漁場の再生への取り組み
滋賀県	東近江市	東近江市尻無町「水源の森」～いにしへの「長谷廻り抜き」を後世に～
京都府	長岡京市	商店街から発信する住民主体のシティプロモーションモデル
福井県	大野市	桜が教えてくれたカタクリ地域づくり
鳥取県	琴浦町	囀り石の浜を舞台にしたまちの活性化プロジェクト
山口県	下関市	協働による花と歴史と安らぎの織りこみ
佐賀県	鹿島市	道路美化活動から始まった地域おこし
長崎県	西海市	～廃校グラウンドが環境農園に生まれ変わった！～

**大賞部門**

都道府県	市区町村	件名
北海道	滝川市	“空の波打ち際”の創造 ～大空に一番近いまちづくり～
東京都	江戸川区	葛西親水四季の道
新潟県	十日町市	大地の芸術祭越後妻有アートライン
静岡県	静岡市	清水港・みなと色彩計画
京都府	向日市	竹の径・かぐやのたべ
福岡県	福岡市	エコシティ福岡をめざして「水と緑とまちづくり」
大分県	日田市	市民の手づくりによる賑わいの創出～水郷だも田地区（千年あかり）～

平成 28 年度

都道府県	市区町村	件名
北海道	登別市	奇跡の温泉を次世代へ～キウシト温泉の保全と活用～
岩手県	陸前高田市	桜ライン311 ～未来へのまちづくり～
山形県	新庄市	新庄市エコロジーガーデン～先人が築いた歴史を次の世代へ～
茨城県	鹿嶋市	「鹿嶋神の道」づくり
茨城県	神栖市	不法投棄されていた土地を地元の手で癒い場に！夢のひろばづくり
栃木県	足利市	足利の魅力再発見！～高校生のロケツアーリズム～
栃木県	日光市	日本の近代化を支えた足尾の産業遺産等を活用した地域おこし
埼玉県	鴻巣市	人もコウノトリも棲めるふるさと鴻巣づくり～つたえよう豊かな自然環境を未来の子どもたちへ！～
神奈川県	横浜市の	地域でつくるエココンの賑わいとキレイなまち鴨居
新潟県	関川村	羽越水害の教訓を伝える「えちごせきかわ大したもん蛇まつり」
三重県	多気町	人々の生活とつながりを育む河川～佐奈川を美しくする会の取り組み～
京都府	南丹市	せつぶん草で集落の「誇りと絆」づくり
大阪府	大阪市	密集市街地の小さな広場を活用した地域防災力向上に向けた挑戦。
広島県	広島市	身近な自然に気づき、川と始める川から始まるまちづくり～川に近づき、川を利用、川で遊び、美しい川を創る～
徳島県	美馬市	カヤックで目指す四国のまほろば～吉野川河畔ふれあい広場～
愛媛県	松山市	We Love 石手川 河川大清掃～河川環境改善による四国最大の親水空間の創出～
高知県	四万十市	流域住民主体で四万十川の環境保全と地域活性化の活動
福岡県	朝倉市	郷土の宝・財産「山田環・堀川用水・水車群」を地域で守ろう

平成 29 年度

都道府県	市区町村	件名
茨城県	古河市	渡良瀨遊水地の未来に向けて
栃木県	栃木市	
	小山市	
	野木町	
	板倉町	
群馬県	加須市	100年の景観づくり「校垂れ桜の咲く里への回廊」
新潟県	糸魚川市	
静岡県	静岡市	うしづま水辺の楽校 子供達のたくさんの笑顔、オクシズの魅力アップを目指すかのがわ風のテラス
静岡県	沼津市	
兵庫県	神戸市	須磨ニュータウン周辺の森を整備し、癒しの森（場）づくり
兵庫県	赤穂市	坂越浦の礎を築いた北前船廻船物語
広島県	三次市	住民自治で創る川西のまちづくり～1200人を支え、100人が働き、170人が関わり、30万人が訪れる郷へ～
愛媛県	松山市	重信川河口域の湿地環境保全
	松前町	～高校生の取り組み～
福岡県	田川市	水辺空間を活かしたまちづくり～番田河原の活用と地域の連携～
熊本県	錦町	球磨川のほとりに咲くツクシバラ～100年後の人々に届けたい～
大分県	津久見市	河津桜に夢をのせて～浦々をつなぐピンクの裾～
大分県	九重町	野焼きによる感動の景観づくり
沖縄県	名護市	公園での「まつつ」と周辺の「やすらぎ」空間の創出

平成 30 年度

都道府県	市区町村	件名
北海道	札幌市	新川夢の桜並木事業～先人達の夢を実現～
北海道	旭川市	地域を育てる緑の道～未来を描く物語仕立ての社会資本の活用～
北海道	増毛市	「増毛山道」の復元と保存による地域活性化
岩手県	一関市	水害常襲地からの脱却！川との戦いから川とのふれあいへ
岩手県	陸前高田市	名勝・高田松原の再生をめざして

宮崎県	延岡市	ふるさとへの思いが奇跡の堤防を産んだ
沖縄県	那覇市	国場川こいのぼりまつり～少年に夢を、青年に希望を、お年寄りに誇りを～そんな街に住みたい！～

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
山形県	西川町	月山志津温泉雪旅籠の灯り～雪は宝～
千葉県	市原市	養老桜とアートの小径プロジェクト（文化と芸術の里づくり）
福島県	会津若松市	会津・阿賀川における「川に遊び、川に学ぶ」を次の世代へ
喜多方市	会津坂下町	
新潟県	湯川村	
	会津美里町	
岐阜県	飛騨市	レールマウンテンバイク「Gattan Go!!」～自転車とレールで風になる～
岐阜県	美濃市	美濃和紙ありアート展
京都府	福知山市	「雲原砂防イベント」（よみがえり地域の力「探訪 雲原砂防」）
京都府	長岡京市	京都おとくに地域の情報発信と魅力ある街づくり
岐阜県	長岡京市	子ども達が取り組む河川環境保全活動から始まる地域づくり
岡山県	出雲市	宇野港を舞台とした玉野の賑わいづくり
	雲南市	～UNOCHI海が見える港のマルシェ～
	奥出雲町	～斐伊川・神戸川流域環境マップづくり～
	飯南町	
	玉野市	
徳島県	三好市	地域の駅から世界の大歩危駅へ
大分県	日田市	上下流の人々をつなぐ筑後川源流の保全活動～植樹交流で下釜ダム湖のある地域を心の故郷へ～
大分県	豊後高田市	花とアートの峠「香々地」～長崎鼻を守るため海と花の景観を創出～
宮崎県	宮崎市	大塚台団地の里山再生～「荒れ果てた都市部の里山再生～
宮崎県	延岡市	川坂湿原を生かした地域おこし～霞堤とともに歩む～
宮崎県	串間市	旧吉松家住宅を中心とした大正ロマンのまちづくり～レトロ路面電車でまちをつなぐ～

平成 29 年度

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	稚内市	古き良きものを守る～国境の街 稚内の歴史的建造物の保存とまちづくり～
岩手県	一関市	「骨寺村荘園遺跡」等の保全と地域の活性化を目指す活動
宮城県	石巻市	石巻南浜津波復興記念公園における市民の伝承活動
茨城県	古河市	渡良瀨遊水地の未来に向けて
栃木県	栃木市	
	小山市	
	野木町	
	板倉町	
群馬県	加須市	100年の景観づくり「校垂れ桜の咲く里への回廊」
新潟県	糸魚川市	
静岡県	静岡市	うしづま水辺の楽校 子供達のたくさんの笑顔、オクシズの魅力アップを目指すかのがわ風のテラス
静岡県	沼津市	
兵庫県	神戸市	須磨ニュータウン周辺の森を整備し、癒しの森（場）づくり
兵庫県	赤穂市	坂越浦の礎を築いた北前船廻船物語
広島県	三次市	住民自治で創る川西のまちづくり～1200人を支え、100人が働き、170人が関わり、30万人が訪れる郷へ～
愛媛県	松山市	重信川河口域の湿地環境保全
	松前町	～高校生の取り組み～
福岡県	田川市	水辺空間を活かしたまちづくり～番田河原の活用と地域の連携～
熊本県	錦町	球磨川のほとりに咲くツクシバラ～100年後の人々に届けたい～
大分県	津久見市	河津桜に夢をのせて～浦々をつなぐピンクの裾～
大分県	九重町	野焼きによる感動の景観づくり
沖縄県	名護市	公園での「まつつ」と周辺の「やすらぎ」空間の創出

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
神奈川県	川崎市	「多摩川エココミュニケーションの推進」人をつなげる森と川～ニヶ領せせらぎ館をまちの広場に～
徳島県	徳島市	万代中央公園（音楽が紡ぐ港の魅力発信）
大分県	大分市	海と街とのやさしい出会い～やすらぎの空間を求めて～「かたたん」みなとまちづくり

平成 30 年度

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	札幌市	新川夢の桜並木事業～先人達の夢を実現～
北海道	旭川市	地域を育てる緑の道～未来を描く物語仕立ての社会資本の活用～
北海道	増毛市	「増毛山道」の復元と保存による地域活性化
岩手県	一関市	水害常襲地からの脱却！川との戦いから川とのふれあいへ
岩手県	陸前高田市	名勝・高田松原の再生をめざして

山形県	西川町	月山志津温泉雪旅籠の灯り～雪は宝～
千葉県	市原市	養老桜とアートの小径プロジェクト（文化と芸術の里づくり）
福島県	会津若松市	会津・阿賀川における「川に遊び、川に学ぶ」を次の世代へ
喜多方市	会津坂下町	
新潟県	湯川村	
	会津美里町	
岐阜県	飛騨市	レールマウンテンバイク「Gattan Go!!」～自転車とレールで風になる～
岐阜県	美濃市	美濃和紙ありアート展
京都府	福知山市	「雲原砂防イベント」（よみがえり地域の力「探訪 雲原砂防」）
京都府	長岡京市	京都おとくに地域の情報発信と魅力ある街づくり
岐阜県	長岡京市	子ども達が取り組む河川環境保全活動から始まる地域づくり
岡山県	出雲市	宇野港を舞台とした玉野の賑わいづくり
	雲南市	～UNOCHI海が見える港のマルシェ～
	奥出雲町	～斐伊川・神戸川流域環境マップづくり～
	飯南町	
	玉野市	
徳島県	三好市	地域の駅から世界の大歩危駅へ
大分県	日田市	上下流の人々をつなぐ筑後川源流の保全活動～植樹交流で下釜ダム湖のある地域を心の故郷へ～
大分県	豊後高田市	花とアートの峠「香々地」～長崎鼻を守るため海と花の景観を創出～
宮崎県	宮崎市	大塚台団地の里山再生～「荒れ果てた都市部の里山再生～
宮崎県	延岡市	川坂湿原を生かした地域おこし～霞堤とともに歩む～
宮崎県	串間市	旧吉松家住宅を中心とした大正ロマンのまちづくり～レトロ路面電車でまちをつなぐ～

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	小樽市	小樽雪あかりの路
三重県	伊勢市	伊勢河崎・町並みと川を生かしたまちづくり～伊勢河崎商人館を核とした暮らしのデザイン～
山口県	岩国市	蘇った歴史の道 岩国往來

令和元年度

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	函館市	函館湾岸価値創造プロジェクト～地域遺産を活用した地域再生の取組～
北海道	帯広市	帯広まちなか歩行者天国～市民が作り、市民が楽しみ、市民が支えるオビヒロホコテン～
福島県	広野町	震災からの復興を世界へ発信！～「ふくしま浜街道」を子供たちとともに～
新潟県	新潟市	嫁入り船復活プロジェクト「水郷の花嫁さんは船で行く」
岐阜県	大垣市	水の都おおがき舟下り・たらひ舟川で遊び、川に学び、川と暮らす「おとがわ！ンターランド」
京都府	綾部市	市民が守り育てるバラ園
大阪府	八尾市	久宝寺内町みんなで作る燈路まつり
奈良県	下市町	みんなで取りこみ、華草とハーブのむらづくり
山口県	防府市	佐波川の新しい空間～そして未来へ！～小野水辺の楽校～
徳島県	徳島市	希少種保護をきっかけとした人工海浜への愛着心育成～インフラ「愛」もあわせて造成～
徳島県	三好市	地域の活動でよみがえった「祖谷」の襖絵からくり舞台

香川県	宇多津町	人との繋がりを広め、古街の再生を～うたづの町家とおひなさん～
福岡県	八女市	暮らしを継承する八女福岡の町家再生と地域活性化
長崎県	諫早市	高来町の魅力再発見！～本明川干陸地の利活用～
熊本県	熊本市	川で生まれて 川で育てて 川で生きる～水守のいる町 川尻（緑川水系 加勢川）～
熊本県	阿蘇市	道の駅を核とした地域振興～道の駅の役割と住民とのネットワーク構築～
大分県	中津市	山国川奇譚～鶴市花傘鉾神事保存・伝承事業～
宮崎県	西都市	記紀の道～地域の宝をつなぎ心を育む～
沖縄県	国頭村	やんばる奥川の自然環境共生型地域づくり

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
福島県	会津若松市	通りの地域資源を活かした「大正浪漫調」のまちづくり
長野県	長野市	城下町松代に学び、城下町松代を育む
三重県	伊勢市	「船参宮の再興が過疎地域を担う」
山口県	山口市	もり・かわ・うみを育むふるさとの流域づくり

令和2年度

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	奈井江町	大河石狩川に並ぶ、日本一の直線国道～日本一の直線が紡ぐ地域の繋がりと次世代への思い～
岩手県	盛岡市	盛岡市鉾屋町界隈～盛岡町家と暮らしと文化がいきづく街並みの保存活用～
秋田県	大仙市	河港のまち角間川リネサンス～雄物川舟運の歴史文化を活かしたまちづくり～
群馬県	板倉町	水害時における自助共助の伝統の継承～「命のかけ橋」水家の在る町～
神奈川県	伊勢原市	駅前ロータリーから広がるふれあいの輪～地域でできることは地域で～
富山県	富山市	市民が守る育てる羽羽丘陵～持続可能な里山再生への取組み～
石川県	金沢市	旧街道と歴史が織りなす地元へ来まっし!!～金沢城下 野町・弥生誘い街道～
石川県	野々市市	「北国街道野々市の市」～北国街道は、文化や夢、希望を運び、育んだ街道です～
岐阜県	各務原市	中山道間の宿 新加納～歴史文化を次世代に継承するまちなみ保全と再生～
徳島県	三好市	さがしい村に伝わる妖怪ばなしでまちおこし
高知県	日高村	日高村におけるグラウンドワーク手法による環境維持・地域づくり活動
福岡県	福岡市	博多は、生きてる博物館
沖縄県	名護市	名護東海岸の活力あふれる地域づくり

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
秋田県	小坂町	明治の遺産を活用した手づくり鉄道博物館～明治のレトロモダンを未来に継承～

東京都	江戸川区	地域と共に 桜と水辺の散策路～篠田堀 親水緑道～
宮崎県	都城市	未来に生きる子どもたちのためのどんぐり1000年の森づくり

令和3年度

令和4年度

令和5年度

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	美幌町	手作り魚道の完成が出発点！～SDGs時代の川との付き合い方～
北海道	鶴居村	「美しい村」鶴居のサイクルツーリズム～牧歌的風景を活かしたサイクリストの聖地へ～
青森県	弘前市	環境保全活動「防災思想の普及と溪流環境の保全」
山梨県	北杜市	SHIROFES. 歴史的文化遺産を活かした地域振興とまちづくり～住民主体のまちづくり～
長野県	長野市	環境保全活動「防災思想の普及と溪流環境の保全」
新潟県	新潟市	新潟の水辺・鳥屋野瀬の持続可能な郷土づくり
新潟県	上越市	地域のお宝「くびき野レールパーク」～よみがえった頸城鉄道～
岐阜県	多治見市	地域と連携・協力した安全で豊かな都市山麓づくり
静岡県	三島市	松毛川「千年の森」再生プロジェクト
沼津市		
京都府	京都市	小倉山森林再生プロジェクト～地域の人の輪によるアカマツの再生～
京都府	南丹市	～檜の木の下に集落内外の人が集う野菜市～ 天引くむく市と活性化の歩み

大阪府	柏原市	放置された森と森林資源を活用して「里山の森づくり」
徳島県	阿南市	最古の四国道路道を活かす～歴史的遺産の魅力を発信して地域活性化～
佐賀県	唐津市	街道遺産発見の旅～歩く唐津街道の旅人と標識設置活動
福岡県	北九州市	
熊本県	山鹿市	菊池川をフィールドとした子供たちとの体験学習会～見られた自然から驚きと感動を～
大分県	中津市	山国川の美しい景観と歴史文化を守り伝える～地域が連携した観光ガイド～
沖縄県	浦添市	市民協働による西海岸・里浜の保全活用～時空を超え未来につなぐ、古里の記憶～

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	斜里町	知床のガードレール雪かきプラス！～真冬の避難-命を守るまちづくり～

令和5年度

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	函館市	はこだて花がいどう～20年目のおもてなし～
北海道	釧路市	くしろ元町の歴史と自然を活かしたフットバス活動
茨城県	守谷市	市民手づくりの本格的自然歩道「守谷野鳥のみち」～市街地隣接大規模未利用緑地の戦略的活用～
千葉県	君津市	人が集まり交流する都市公園へ～地域をつなぐホテル復活プロジェクト～
新潟県	上越市	無人駅で賑わいの創出
岐阜県	高山市	「人と自然の交流拠点」しのぶ砂防堰堤
愛知県	一宮市	手づくり文化の発信から公共の官民連携活用へ
兵庫県	宍粟市	ひらかれた農山村地域社会の実現をめざして
島根県	浜田市	「幻」の広浜鉄道今福線」を活かした地域活性化
島根県	雲南市	尾原ダム地域活性化の取組み～地域とともに10年、そしてこれからも～
	奥出雲町	
愛媛県	八幡浜市	港を拠点とした市民によるまちづくり活動～みなとまち八幡浜の再生～
高知県	佐川町	牧野富太郎博士への思いを紡ぐ公園づくり～みんなで育てる牧野公園～
沖縄県	那覇市	国場川河口域で自然環境学習の場づくり活動

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
熊本県	山鹿市	米米窓門ツアー～永遠に続くストーリー～
宮崎県	西都市	記紀の道～地域の宝をつなぎ心を育む～

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講習

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講習

# 手づくり郷土賞

ふるさと

手づくり郷土賞



手づくり郷土賞  
ホームページ



手づくり郷土賞  
Face book